

全国学力・学習状況調査結果の概要

注：この「全国学力・学習状況調査結果の概要」は、あくまで、本調査結果のみに限って分析したものであり、実際の学力の状況は、本資料に記載した事柄以外にも、学校、教員、子どもたちのあり方、そしてその背後にある経済状況や家庭環境等、より広範な背景に起因すると考えられることにもご留意願います。



平成20年2月
高知県教育委員会

— 目次 —

I	調査の概要	1
II	分析結果の概要		
1	学力の状況	2
2	児童生徒の学習や生活の状況	3
3	学校の取り組みの状況	4
III	学力についての全国比較		
1	小学校 国語と算数の相関図	5
2	中学校 国語と数学の相関図	6
IV	学習状況についての全国比較		
1	中学生「学校以外（普段）での勉強時間」と「宿題」の相関図	7
2	学習時間・家庭学習（児童生徒質問紙調査）	8
V	市町村・学校別の状況		
1	市町村別平均正答率の分布状況	9
2	学校別平均正答率の分布状況	11
VI	教科ごとの学力の状況		
1	小学校国語	13
2	小学校算数	17
3	中学校国語	21
4	中学校数学	25

I 調査の概要

(1) 調査の目的

- ◇ 国が全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇ 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ◇ 各学校が各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 平成19年4月24日(火)実施

(3) 平成19年10月24日(水)公表

(4) 調査内容

- ◇ 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒を対象
- ◇ 教科に関する調査は、国語、算数・数学を出題
- ◇ 「知識」に関する問題と、「活用」(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など)に関する問題を出題
また、生活習慣・学習環境等に関する質問紙調査を実施

(5) 県内の参加状況

- ◇ 参加学校数
 - 公立小学校243校
※小学校6年生が在籍していない小学校11校を除く
 - 公立中学校116校
※特別支援学校(中学部)1校を含む
※修学旅行のため後日実施した中学校3校を除く
 - 公立小・中学校合計学校数 359校
- ◇ 小学校解答(回答)児童数

国語A	6,736名	国語B	6,734名
算数A	6,736名	算数B	6,735名
児童質問紙	6,736名		
- ◇ 中学校解答(回答)生徒数

国語A	5,375名	国語B	5,373名
数学A	5,366名	数学B	5,364名
生徒質問紙	5,378名		

Ⅱ 分析結果の概要

1 学力の状況

- ◆ 小学校の国語と算数の平均正答率は、ほぼ全国水準であるが、中学校においては国語A（基礎）問題以外は全国水準を下回っており、特に、数学のB（活用）問題は全国水準を大きく下回っている。

＜数学Bの平均正答率 中学生：本県 50.6% 全国 60.6%＞

- ◆ 小・中学生ともに、基礎的な知識や技能を実生活等で活用する力が弱い。

- ◆ 無解答率は中学生において全国と比べて高くなっている。特に、B（活用）問題や記述形式の問題は無解答率が高い。

＜数学Bの記述式問題の平均無解答率 中学生：本県 33.4% 全国 23.0%＞

- ◆ 市町村や学校によって、学力の定着状況や取り組みに格差が見られる。

〔課題〕

- 小学生段階と中学生段階での、学力の定着状況の格差が大きい。

＜全国との差 小学生 国語A：同じ、国語B：2ポイント低い
算数A：0.5ポイント低い、算数B：2.9ポイント低い＞
＜全国との差 中学生 国語A：3.5ポイント低い、国語B：8.0ポイント低い
数学A：9.1ポイント低い、数学B：10ポイント低い＞

- 小学生においては、基礎的な知識は概ね身に付いているが、読解力や書く能力など応用力は十分に身に付いていない。

（例）本文中に書かれている事実について、その理由を文中から探して文章でまとめて書く問題。

- 中学生は、基礎的な知識とその基礎的な知識を活用する力の両方ともに身に付いておらず、特に数学は分数の割り算や正負の四則計算など数学の土台となる基礎的な計算問題や簡単な代数の問題すらできていない生徒が多い。

（例） $2/3 \div 5/7$ ＜無解答率 13.3・全国 7.0＞
 $2x + 3y = 9$ を y について解く＜無解答率 24.1 全国 12.9＞

2 児童生徒の学習や生活の状況

① 基本的な生活習慣

- ◆ 朝食を毎日食えることや睡眠時間の状況は、全国とほぼ同様である。

＜朝食を食べている割合

小学生：本県 94.6% 全国 95.2%、中学生：本県 90.4% 全国 91.6%＞

② 家庭学習

- ◆ 学校の授業時間以外で1日当たり1時間以上勉強している割合は、小学生は全国とほぼ同様であるが、中学生は全国と比べて著しく少なくなっている。また、勉強を全くしない中学生の割合も全国と比べて多い。

＜1時間以上勉強している割合

小学生：本県 59.3% 全国 57.9%、中学生：本県 54.1% 全国 65.0%＞

＜勉強を全くしない割合

小学生：本県 5.8% 全国 4.1%、中学生：本県 11.5% 全国 8.4%＞

- ◆ 宿題をしている小学生の割合は全国とほぼ同じであるが、中学生の割合は全国と比べて少ない。

＜宿題をしている割合

小学生：本県 95.1% 全国 94.7% 中学生：本県 71.4% 全国 80.2%＞

- ◆ 予習をしている小・中学生の割合は、ともに全国と比べて少ない。

＜予習をしている割合

小学生：本県 27.4% 全国 32.9%、中学生：本県 23.6% 全国 29.5%＞

〔課題〕

- 本県の中学生の25%の生徒が授業以外で1日当たり学習する時間が30分より少なく、全く勉強していない生徒も1割以上いる。

また、宿題や予習をしている割合も全国と比べて少なく、家庭での学習が十分に定着していない。

＜勉強時間が30分未満の割合

小学生：本県 16.6% 全国 16.1%、中学生：本県 25.0% 全国 18.6%＞

③ 学力との相関

- ◆ 国語や算数、数学の勉強が「好きである」、「大切である」、「よく分かる」と思っている小・中学生ほど平均正答率が高い傾向が見られる。

- ◆ 「家庭学習・学習時間」「学習に対する関心・意欲・態度」「規範意識等」「基本的な生活習慣」に関する質問に肯定的な回答をした小・中学生ほど平均正答率が高い傾向が見られる。

〔課題〕

- 家庭学習につながるような授業づくりが必要である。
- 家庭・地域と連携して家庭学習の習慣を定着させる取り組みが必要である。

3 学校の取り組みの状況

① 研修

- ◆ 小学校においては、講師を招聘して校内研修を行っている割合は全国と比べて多い。 <小学校：本県 98.3% 全国 91.0%、中学校：本県 87.4% 全国 83.1%>
- ◆ 中学校においては、基礎学力定着のための研修などを行っている割合は全国と比べて多い。しかし、教科に関するより専門的な研修が小学校に比べると少ない。 <指導主事の教科に関する学校訪問指導の割合 小学校 72.6%、中学校 27.4%>
- ◆ ICTを活用した授業のための研修を実施している割合は、全国と比べて非常に少ない。 <小学校：本県 34.2% 全国 56.4%、中学校：本県 18.4% 全国 39.4%>

〔課題〕

- 特に、本県には小規模校が多く、教科担任が1人の中学校が多いため、複数の教員で切磋琢磨する機会に恵まれておらず、教科の専門性を高める研修が十分に行われていない。

② 開かれた学校づくり

- ◆ 小・中学校ともに、児童生徒による授業評価や、保護者や地域住民による外部評価はよく実施している。
- ◆ 自己点検評価結果を学校運営の改善に生かしている中学校の割合は、全国と比べて少ない。 <小学校：本県 95.9% 全国 98.7%、中学校：本県 90.8% 全国 97.5%>
- ◆ 小・中学校ともに、学校の教育活動についてホームページを開設して情報提供を行っている割合は、全国と比べて非常に少ない。 <小学校：本県 45.7% 全国 73.3%、中学校：本県 39.5% 全国 71.6%>

〔課題〕

- 評価結果が改善策に十分反映されていない。

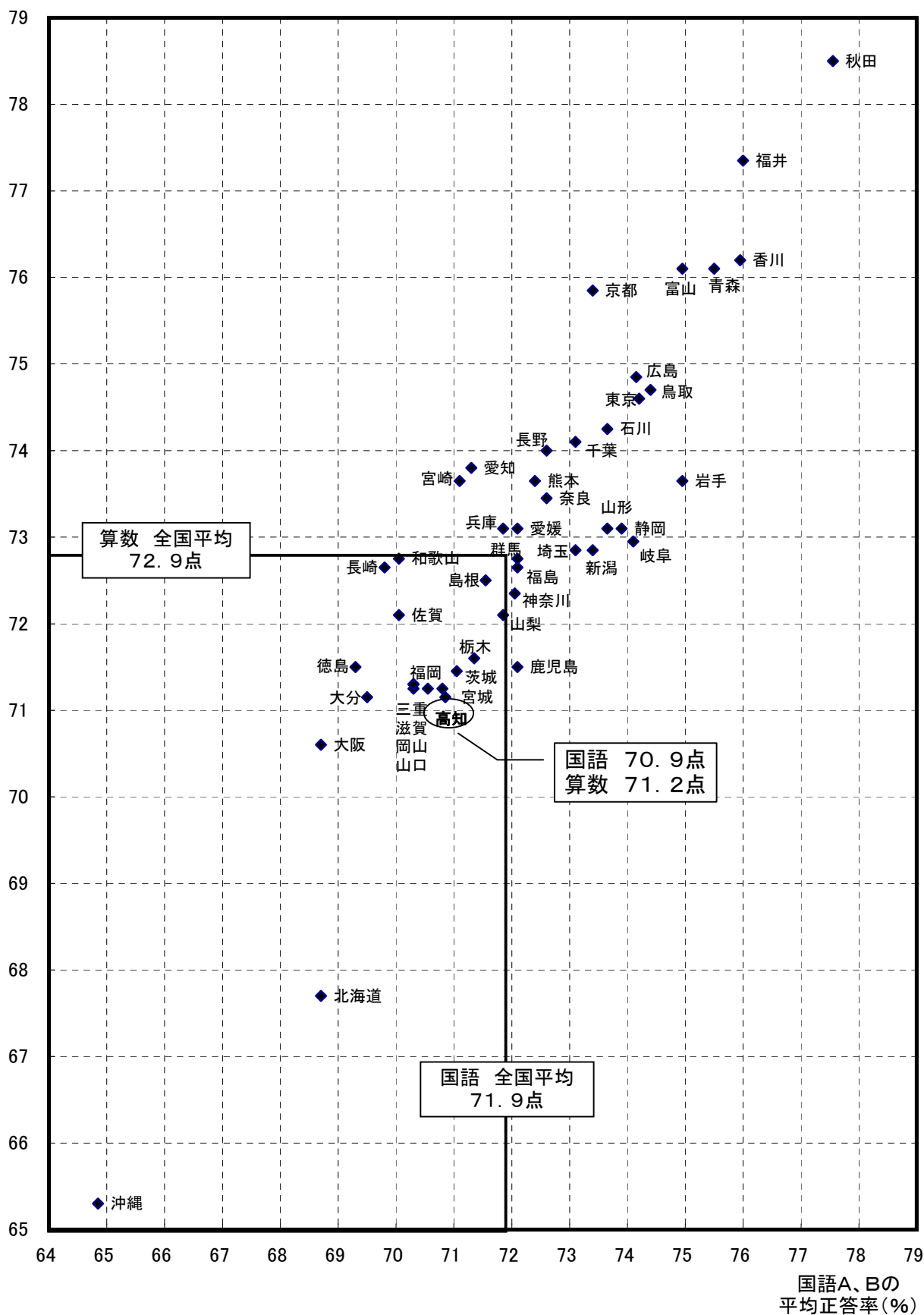
③ 学力との相関

- ◆ 小・中学生が「熱意を持って勉強している」「私語が少なく落ち着いている」「礼儀正しい」と認識している学校ほど、平均正答率が高い傾向が見られる。

Ⅲ 学力についての全国比較

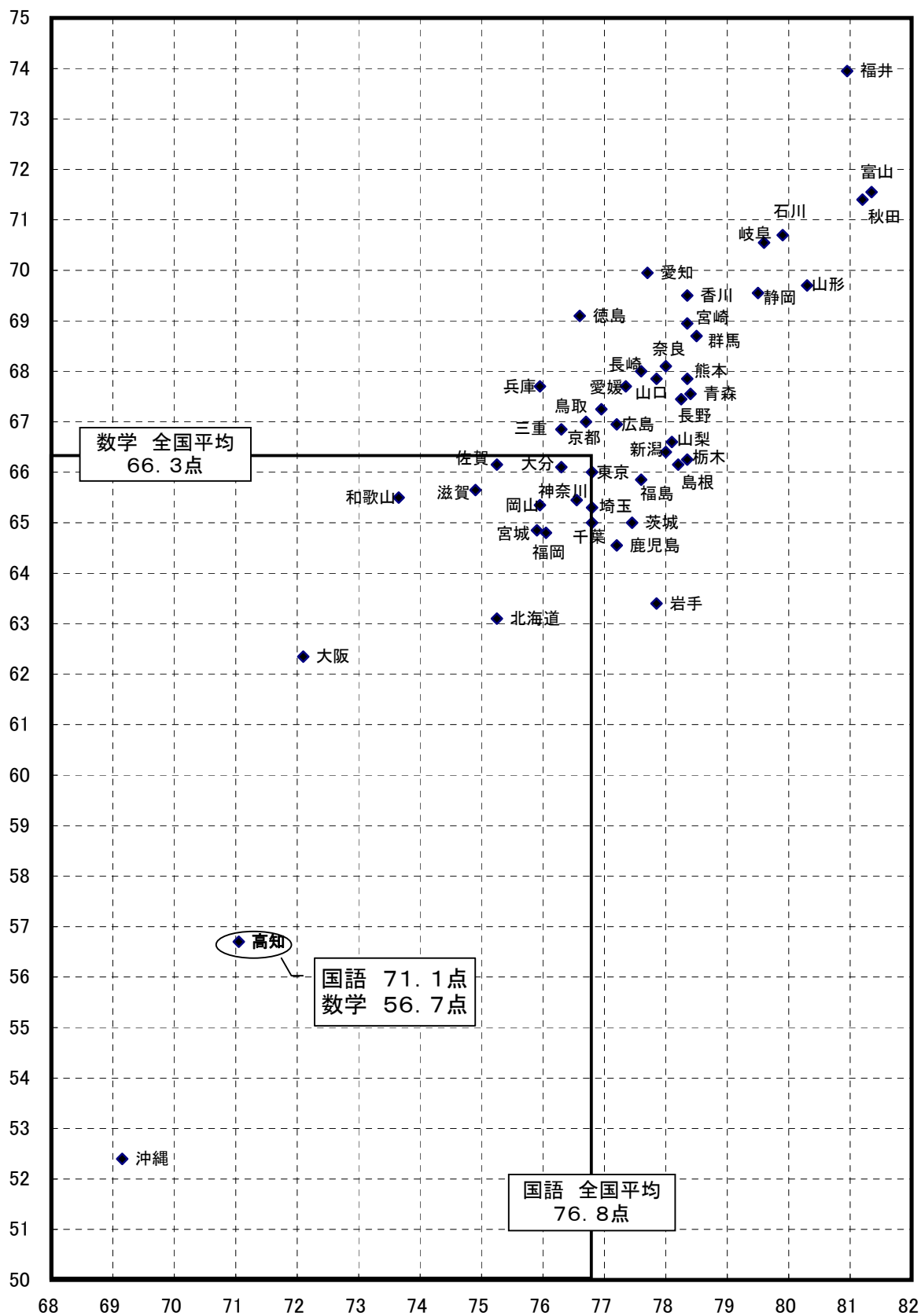
1 小学校 国語と算数の相関図

算数A、Bの
平均正答率(%)



2 中学校 国語と数学の相関図

数学A、Bの
平均正答率(%)



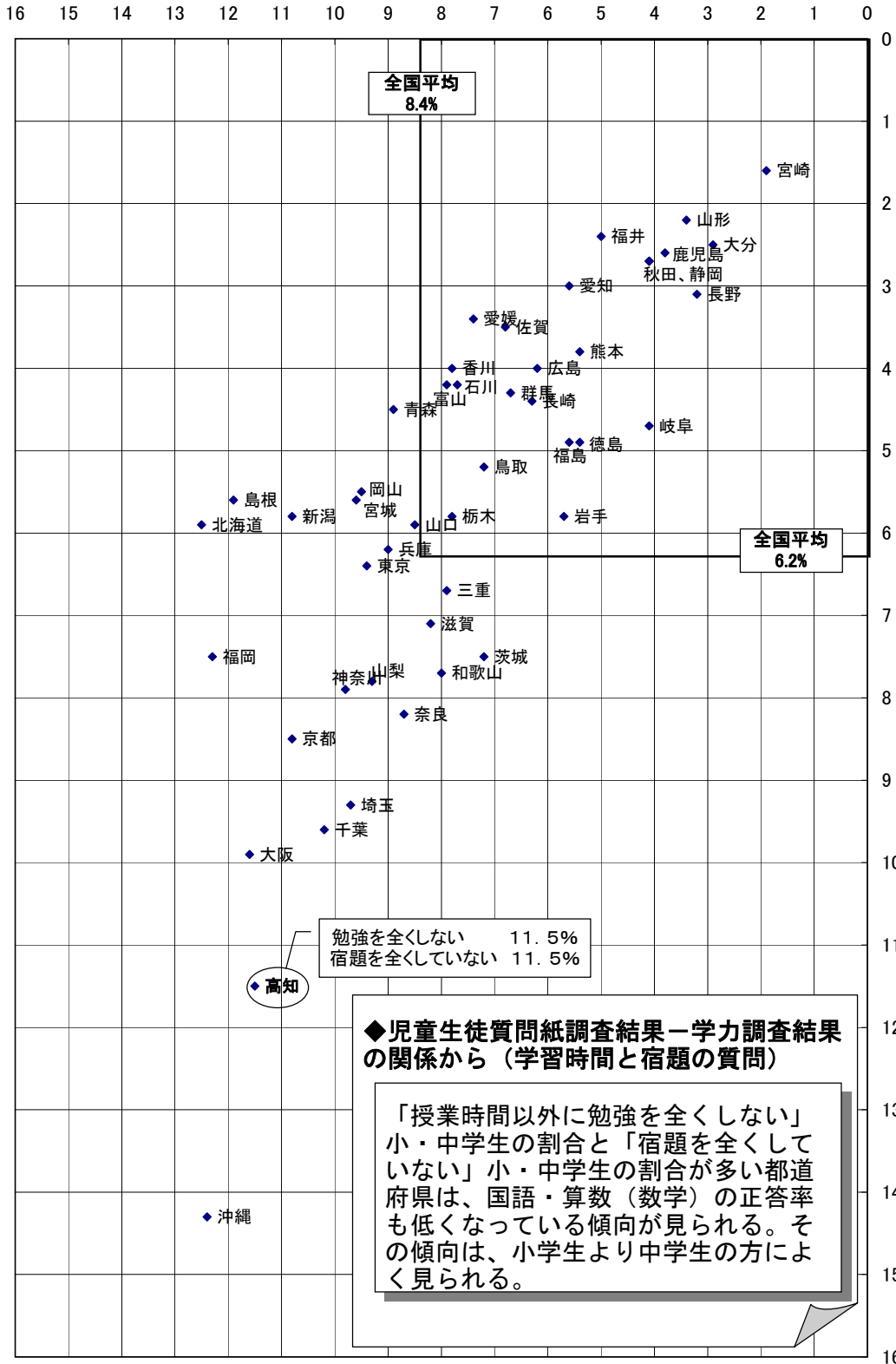
国語A、Bの
平均正答率(%)

IV 学習状況についての全国比較

1 中学生「学校以外（普段）での勉強時間」と「宿題」の相関図

<生徒質問紙(中学3年生)調査回答>

授業時間以外に勉強を全くしない
生徒の割合(%)



宿題を全くしていない
生徒の割合(%)

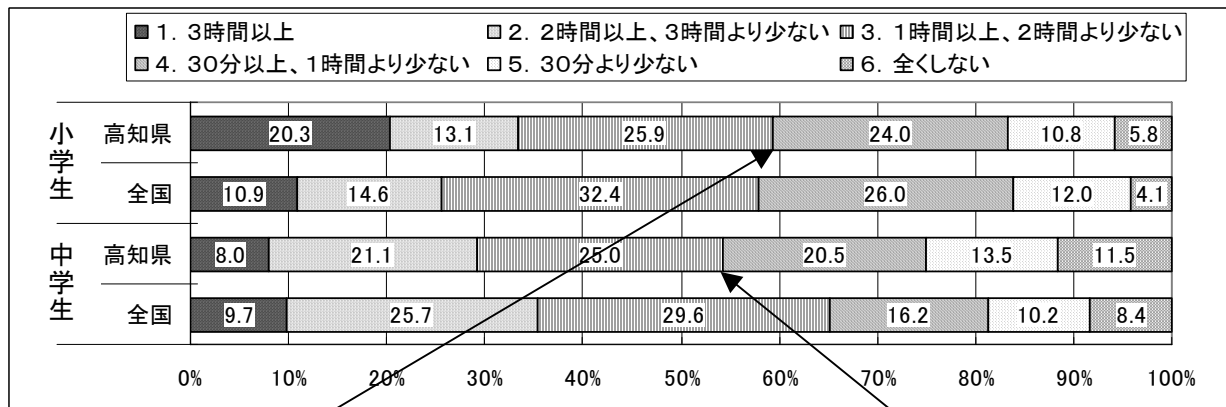
2 学習時間・家庭学習（児童生徒質問紙調査）

- 「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1時間以上勉強している」小学生の割合は全国とほぼ同じだが、中学生の割合は全国より少ない。
- 高知県の中学生の「全く勉強しない」割合は、11.5%である。
- 全国では、「1時間以上勉強している」割合は、小学生より中学生の方に多いが、高知県では、逆に中学生の方が少ない。

◆学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含んでいる。）

（小）質問21（中）質問21

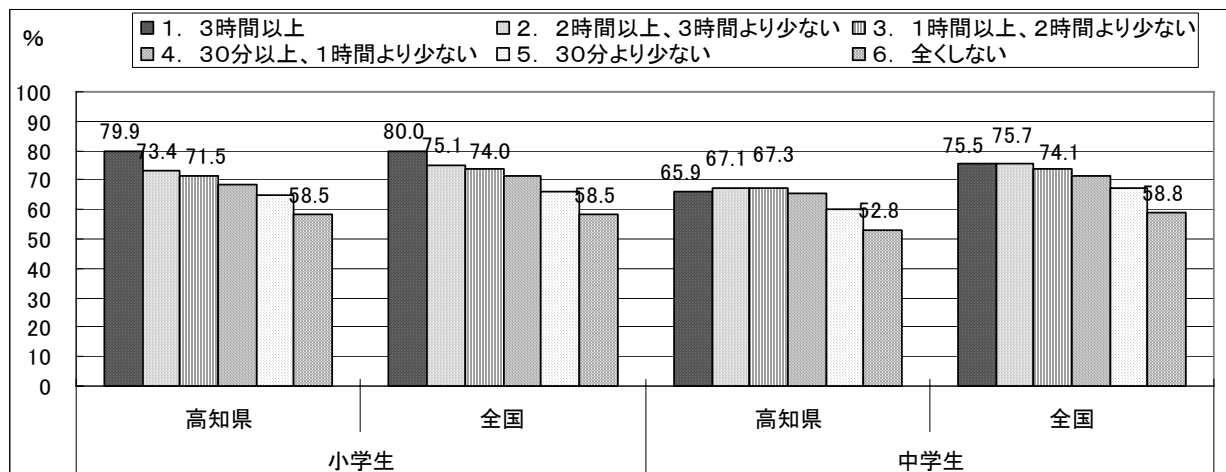


（小）全国比較：+1.4ポイント

（中）全国比較：-10.9ポイント

《正答率との相関関係》

- 「学校の授業以外で勉強する時間が長い」小学生の方が、正答率が高い傾向が見られる。
- 高知県の中学生に比べて小学生の方に、勉強時間と正答率との相関関係がより見られる。



※縦棒は、国語A・B、算数（数学）A・Bの平均正答率

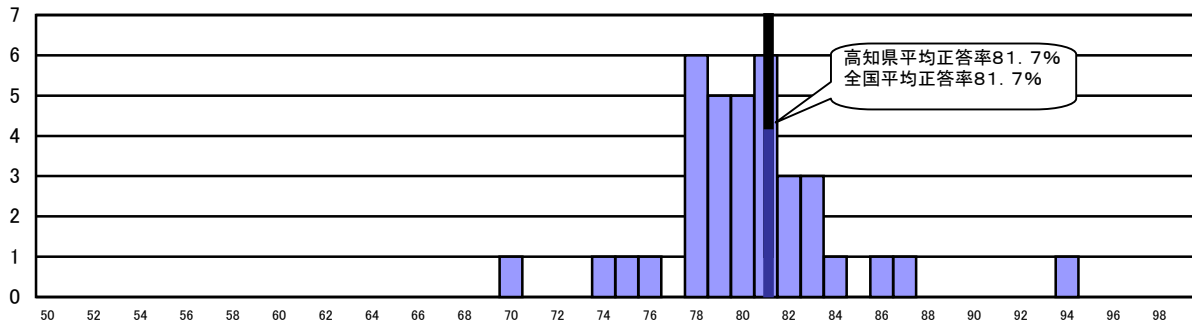
V 市町村・学校別の状況

1 市町村別平均正答率の分布状況

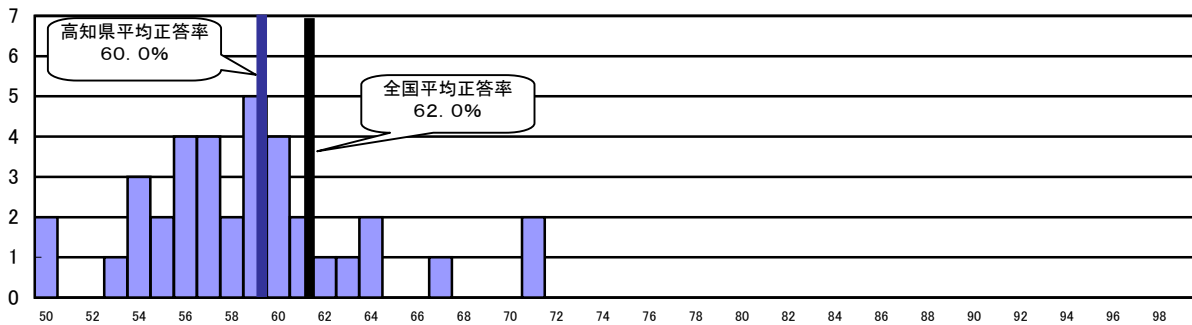
[縦軸は市町村数、横軸は平均正答率]

【国語】

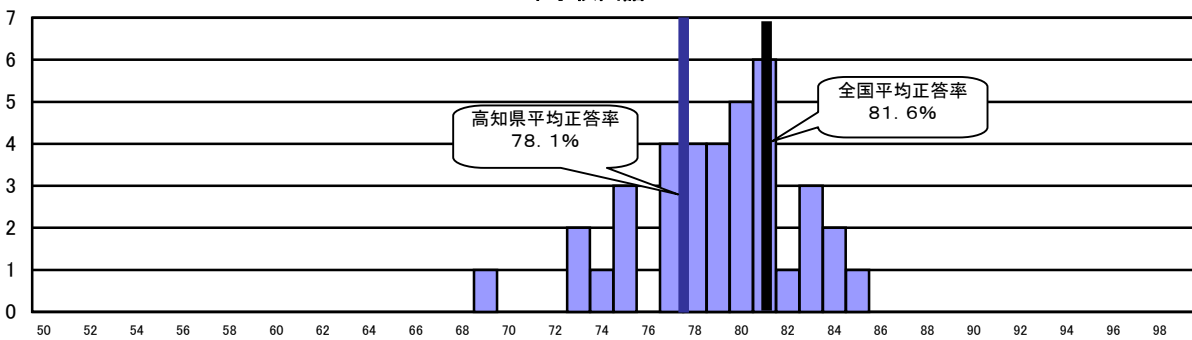
小学校国語A



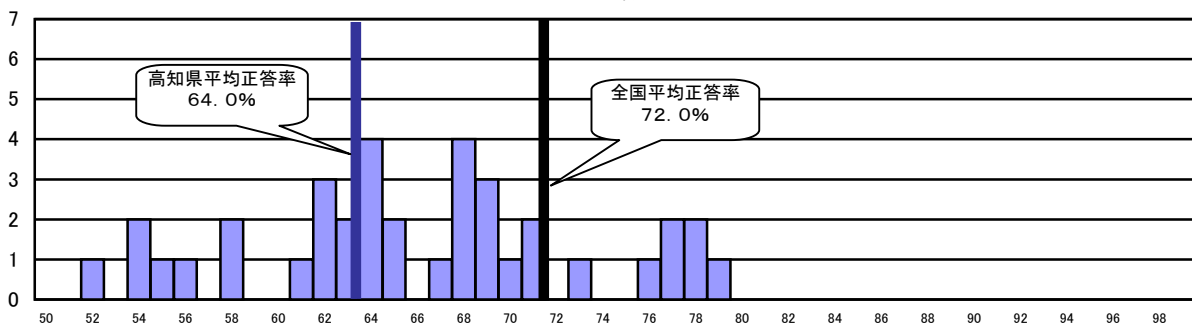
小学校国語B



中学校国語A



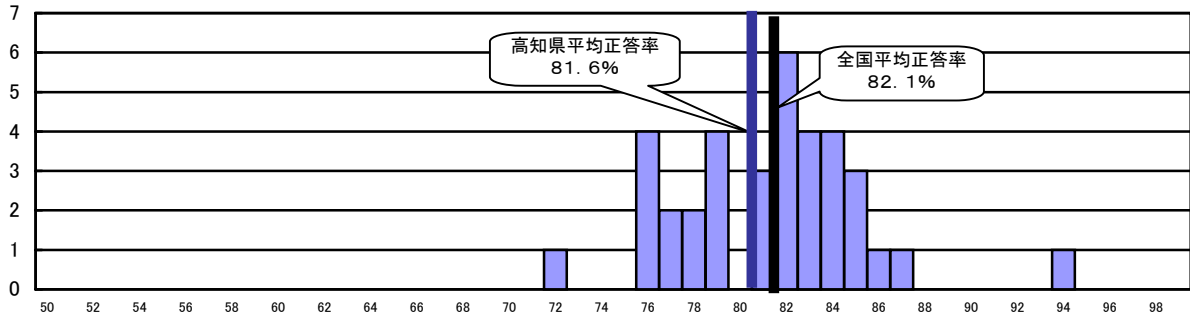
中学校国語B



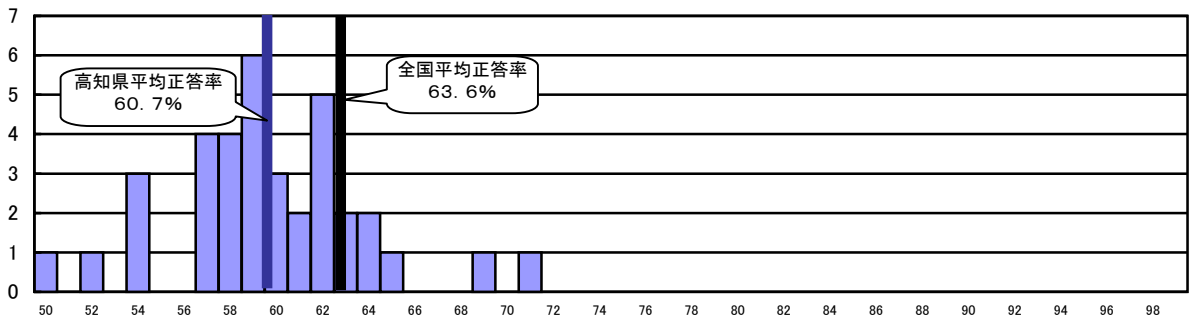
※横軸の目盛りについて…例えば60から上に伸びたグラフの目盛りは、60より大きく61以下を表している。

【算数・数学】

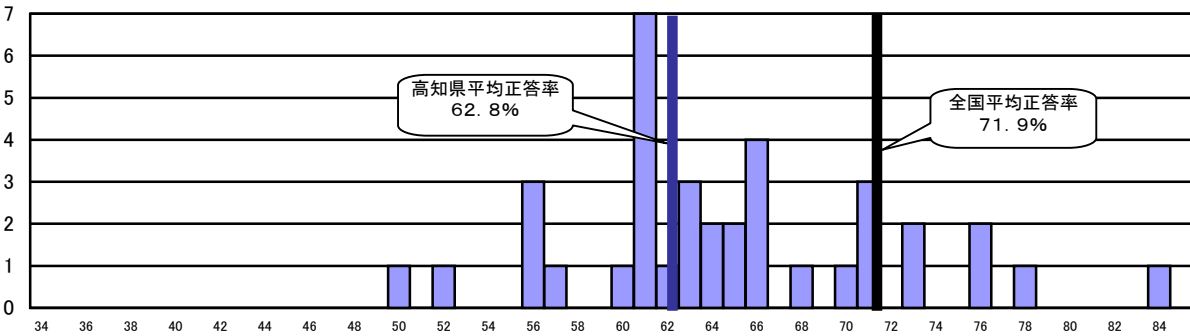
小学校算数A



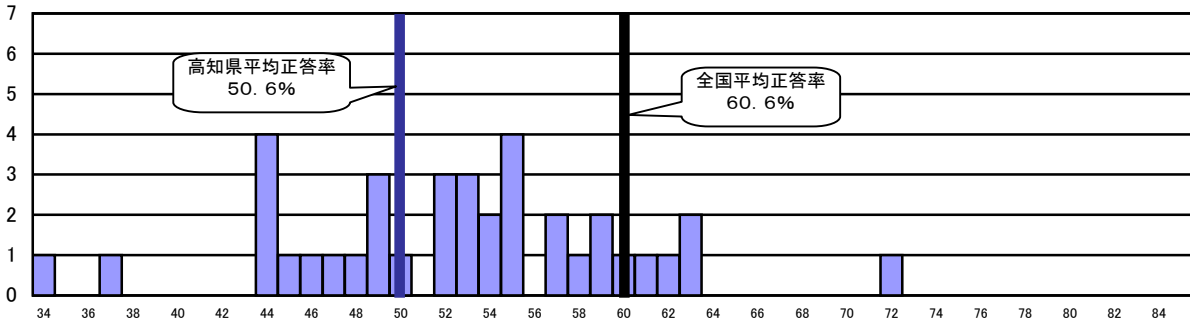
小学校算数B



中学校数学A

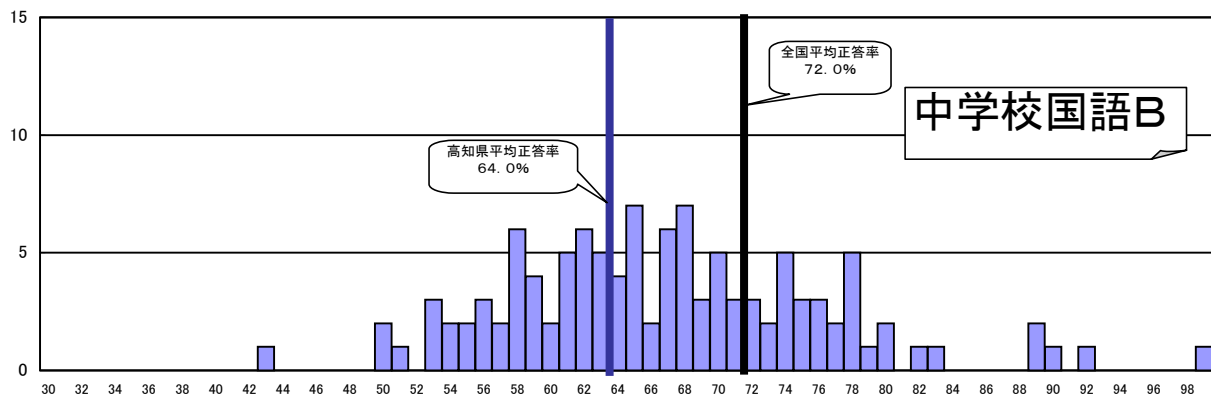
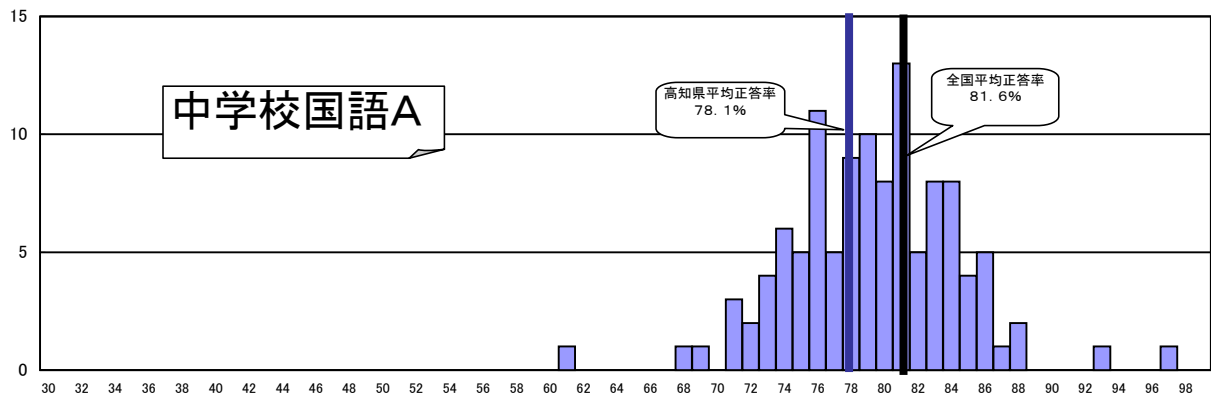
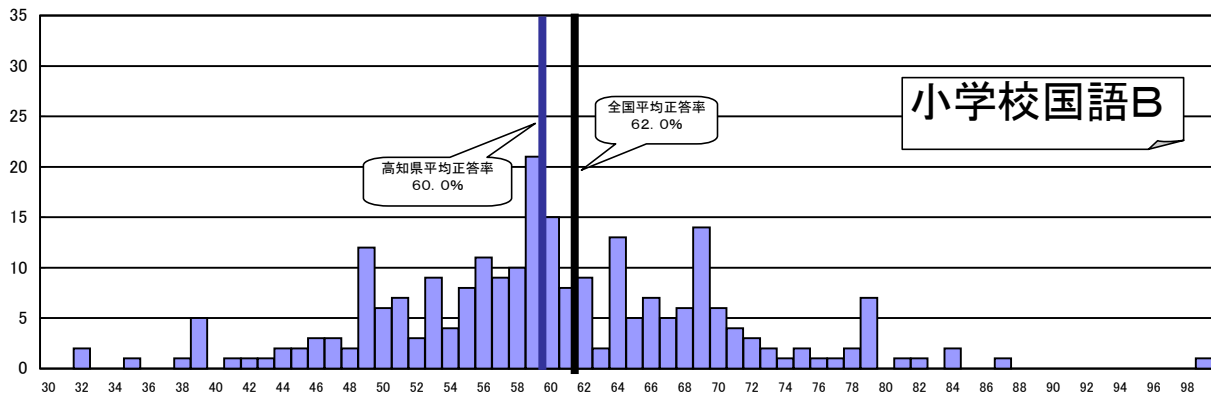
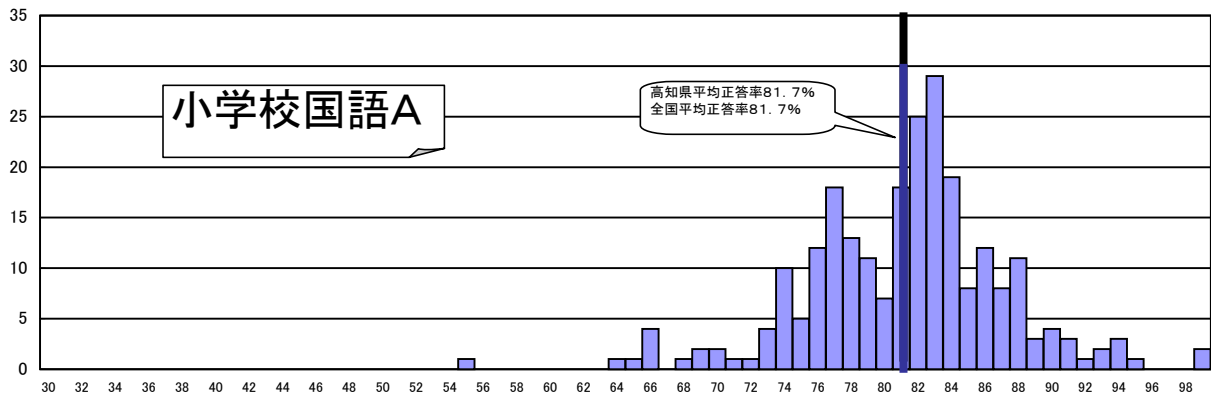


中学校数学B



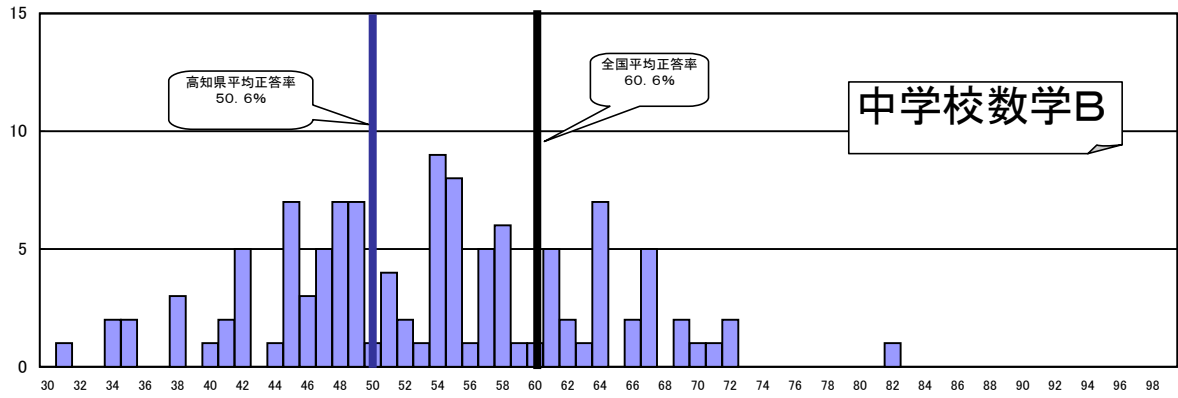
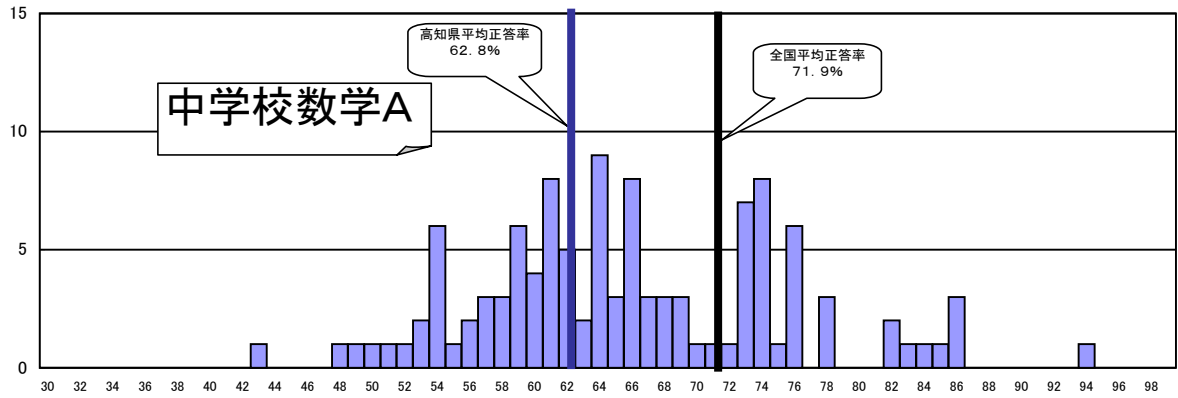
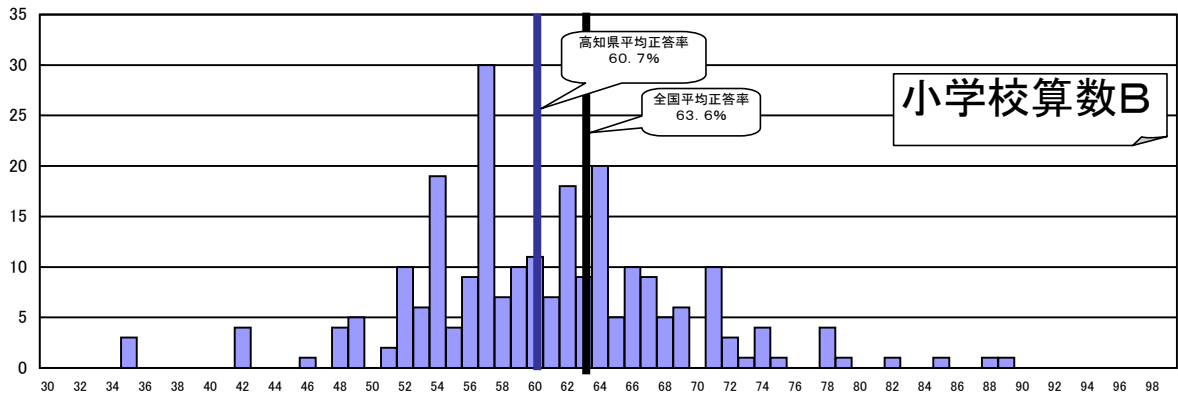
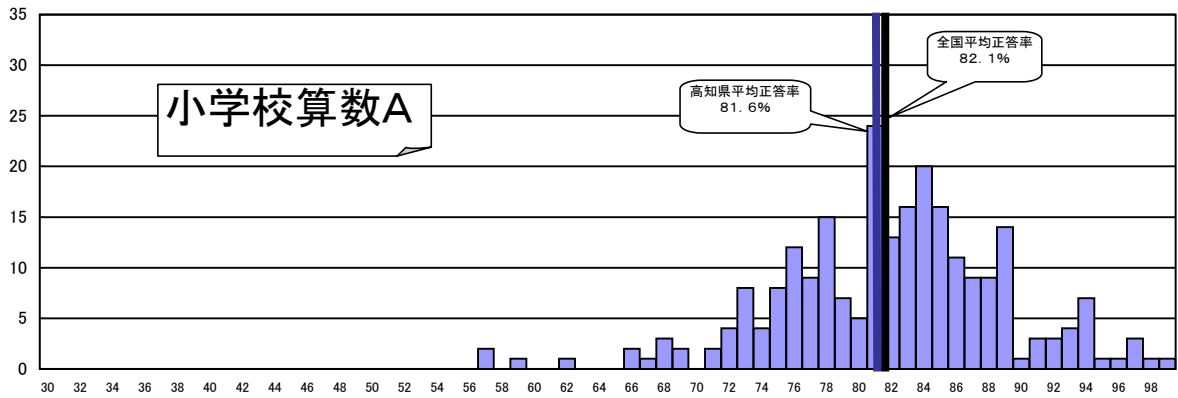
2 学校別平均正答率の分布状況

[縦軸は学校数、横軸は平均正答率]



※縦軸の学校数について…児童生徒の在籍数が1名であっても1校として表している。

※横軸の目盛りについて…例えば60から上に伸びたグラフの目盛りは、60より大きく61以下を表している。

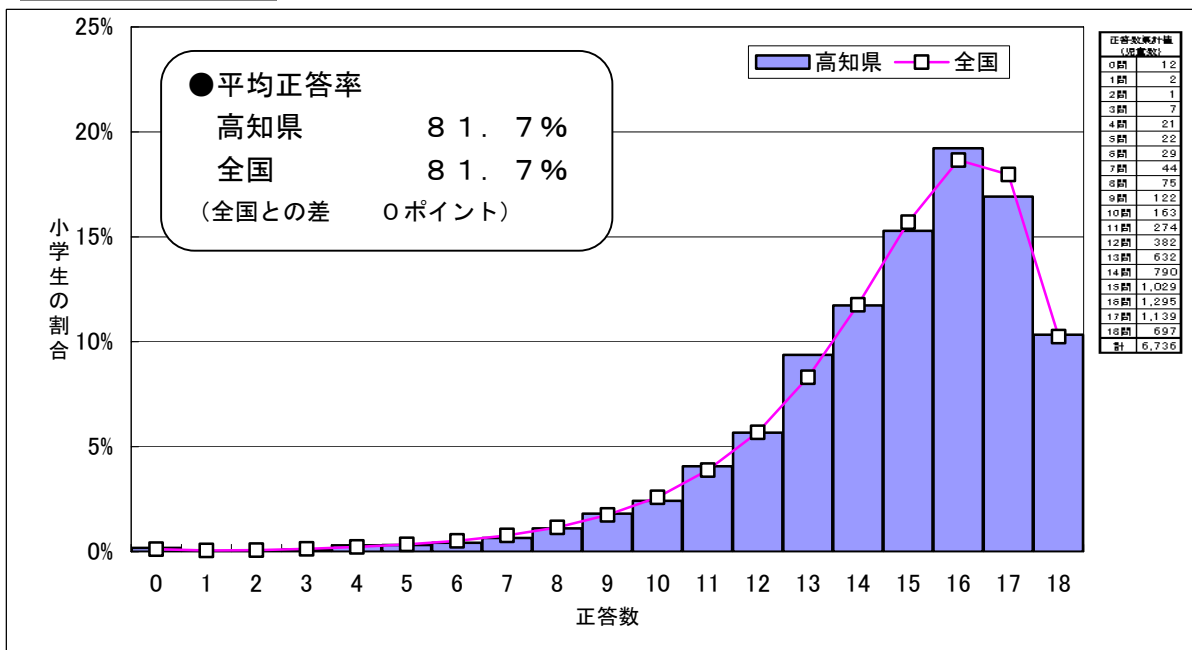


VI 教科ごとの学力の状況

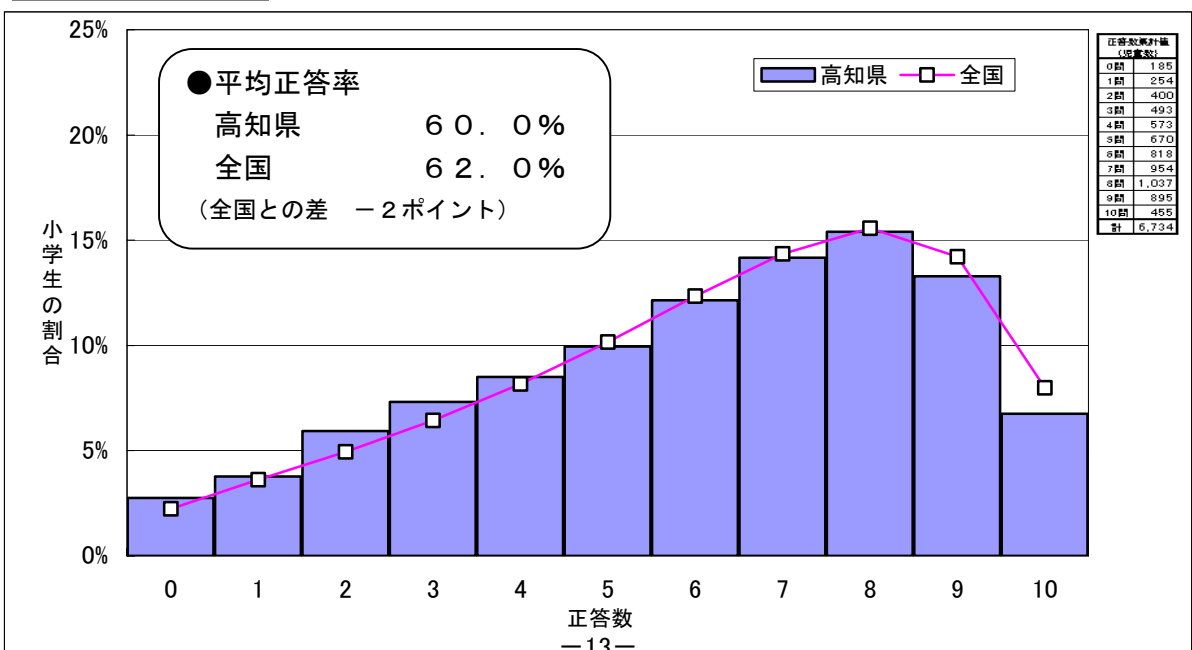
1 小学校国語

- 国語A（知識）について、小学生の平均正答率は、全国の平均正答率と同じである。
- 国語B（活用）について、小学生の平均正答率は、全国の平均正答率と同等である。
- 知識に関する問題については、相当数の小学生が今回出題している学習内容をおおむね理解していると考えられるが、知識・技能を活用する力については全国の状況と同様に課題がある。

国語A（知識）



国語B（活用）



○設問別集計結果 小学校（国語）

■国語A

設問番号	設問の概要	高知県正答率 －全国正答率	平均正答率		無解答率	
			高知県	全国	高知県	全国
1一(1)	漢字を読む(リーダーとして勝利に導く)	1.0	96.2	95.2	1.1	1.8
1一(2)	漢字を読む(話し合いを重ねる)	-1.2	95.0	96.2	1.5	1.3
1一(3)	漢字を読む(責任をもつ)	0.4	97.5	97.1	0.9	1.3
1二(1)	漢字を書く(みんなできょうりょくする)	-0.5	93.8	94.3	1.7	1.7
1二(2)	漢字を書く(先生にそうだんする)	-0.3	57.7	58.0	6.7	7.7
1二(3)	漢字を書く(魚をやく)	7.5	78.2	70.7	3.2	4.6
2一	文脈に適した接続語を選択する(順接)	-0.2	98.4	98.6	0.3	0.2
2二	文脈に適した接続語を選択する(添加)	0.1	98.4	98.3	0.3	0.2
2三	文脈に適した接続語を選択する(逆接)	0.0	99.1	99.1	0.3	0.2
3一	指示語の指し示す内容を選択する(語句)	0.7	93.3	92.6	0.3	0.3
3二	指示語の指し示す内容を選択する(内容)	1.3	89.8	88.5	0.5	0.4
4	漢字辞典の効率よい調べ方を選択する	-3.4	77.8	81.2	0.5	0.4
5	一文を二文に分けて書く	0.9	58.7	57.8	3.4	4.4
6	インタビューのメモの工夫を選択する	-5.4	52.1	57.5	0.7	0.6
7	スピーチでの聞き手に分かりやすい話し方を選択する	1.8	57.5	55.7	0.7	0.8
8	べっこうあめ作りの感想を、作り方の説明書にする	-0.8	84.5	85.3	3.6	3.5
9	説明文の一部を読んで、内容に合うものを選択する	-2.2	78.8	81.0	3.2	2.9
10	物語の一部を読んで、登場人物の心情として適切なものを選択する	-0.6	62.5	63.1	4.3	4.2

■国語B

設問番号	設問の概要	高知県正答率 －全国正答率	平均正答率		無解答率	
			高知県	全国	高知県	全国
1一	話し合いの内容を整理した司会者の発言を書く	-1.5	61.4	62.9	5.3	4.9
1二	司会者の進行の良いところを書く	-0.3	78.7	79.0	7.2	6.9
2一	グラフを読み取り、文章中の空欄に適切な数字をあてはめる	0.0	60.8	60.8	2.5	2.2
2二	古紙の再生利用が重要な課題となってきた理由を書く	-4.4	41.0	45.4	4.2	4.0
2三(1)	古紙を回収に出すときに守ることを新聞に書く	-1.4	47.6	49.0	12.0	11.5
2三(2)	ごみを減らすための取り組みを考えて80字以上120字以内で書く	-2.8	72.4	75.2	12.0	10.4
3一(1)	同じ本を読んで書いた2人の感想文から、共通する書き方の良いところを書く	-0.8	55.1	55.9	14.5	13.2
3一(2)	同じ本を読んで書いた2人の感想文から、共通する書き方の良いところを書く	-1.2	53.7	54.9	18.3	17.5
4一	広告の情報を読み取って、正しい内容を選択する	-3.1	59.7	62.8	8.2	6.7
4二	客に対する勧誘の表現を適切に改めて書く	-3.5	73.5	77.0	10.5	9.4

は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率

小学校国語

○課題

- 文章の構造や段落と段落の関係などを考えながら読む方法や力が身に付いていない。
- 相手にわかるように文章構成を考えて自分の思いや考えを書いたり、目的や意図に応じて文章を書き換えたりする力が身に付いていない。
- 話の要点をつかみ、重要な部分をメモに取りながら聞く方法や力が身に付いていない。

【学習指導要領の領域別状況】 <◇相当数の児童が理解できている内容 ◆課題がある内容>

話すこと・聞くこと	◆ (A) 話の要点を聞き取り、効率よくメモを取ることに課題がある。
書くこと	◆ (B) 取り上げた事実が、どのような理由で述べられているかについての的確に読み、その理由を要約することに課題がある。 ◆ (B) 情報の中から必要な事柄を取り出し、目的に応じて書き換えることに課題がある。
読むこと	◆ (B) 取り上げた事実が、どのような理由で述べられているかについての的確に読み、その理由を要約することに課題がある。 ◆ (B) 二つの文章を比べて読み、自分の考えとしてまとめることに課題がある。
言語事項	◇ (A) 指示語の種類や役割を押さえたうえで、文脈の中における働きを理解していることは相当数の児童ができている。 ◆ (A) 物語の主人公について一文で書かれた内容を理解し、一文を二文の構成にして書き換えることに課題がある。

【正答率が高い問題】

A 2 三	逆接「けれども」を選択 [99.1%]
A 2 一	順接「だから」を選択 [98.4%]
A 2 二	添加「それに」を選択 [98.4%]
A 1 一(3)	「責任」の読み [97.5%]
A 1 一(1)	「導く」の読み [96.2%]

【正答率が低い問題】

B 2 二	理由を要約して記述 [41.0%]
B 2 三(1)	箇条書きに書き換え [47.6%]
A 6	話の要点をメモに取る [52.1%]
B 3	文章を比べて読み、評価し、自分の考えを記述 [53.7%]
A 7	スピーチ（話し方）の選択 [57.5%]

☆ 本文から必要な情報を取り出して要約する

＜具体的な指導例＞

- ・漫然とただ文章を読ませる授業ではなく、何のためにその教材を読むのか、読むことによってどういうことを目指すのか、目的を明確にした指導を行う。
- ・説明文を要約するためには、
 - ① 形式段落の中心文を見つける
 - ② 中心文をもとに各形式段落の要点をまとめる
 - ③ 要点をもとに中心段落をみつける
 - ④ 中心段落の要点をつなぐという一連の活動を繰り返し学習する。
- ・文章の構成を学習するためにも、接続語に着目したり、段落と段落の相互関係を踏まえながら読む。
- ・当該学年より下学年の教材を扱う。

1 家庭や地域などから毎日のようにさまざまなごみが出されます。ごみの量をこれ以上増やさないようにするために、わたしたちに何ができるでしょうか。また、資源として大切に使うために、どのようなことができるでしょうか。身近な紙の問題を例にして考えてみましょう。

2 紙は、わたしたちのくらしの中でなくてはならないものであると同時に、産業や文化を支える大事な働きをしています。トイレットペーパーやティッシュペーパーなどは、生活用品として、また、新聞や雑誌、本などは、情報と知識を伝えるものとして、はば広く使われています。

3 一般に紙は、「紙」と「板紙（厚手の紙のこと）」に区分されます。新聞、雑誌、印刷用紙、コピー用紙、ノート、ティッシュペーパーなどは、「紙」に区分されます。段ボールや紙箱用のボール紙などは、「板紙」に区分されます。

4 日本の紙と板紙の生産量は、二〇〇二年（平成十四年）には、世界第ア位となっています。そのほとんどは国内で消費しています。

5 社会や経済の発展にともない、紙はより多くの分野で使われるようになり、新しく木から作り出す紙だけでは不足するようになってきました。そこで、「一度使い終わった紙を古紙として、再生利用することが世界的に重要な課題となってきました。紙の原料である森林を守るためにも、古紙を利用して、むやみに木を切ることがないようにする必要があります。

川本さんの学級では、ごみを減らす取り組みの一つとして、身近な紙の問題を調べ、新聞にまとめて書くことにしました。そこで、紙についての資料を集めました。次の資料を読んで、あとの問いに答えましょう。

二 資料1の第5段落に、「一度使い終わった紙を古紙として、再生利用することが世界的に重要な課題となってきました」と書いてありますが、なぜ、重要な課題となってきたのですか。その理由を本文中から探して、二つ書きましょう。

☆ 観点を設定して比べて読み、自分の考えを書く

＜具体的な指導例＞

- ・「グラフからわかること」と「それに対する自分の考え」等、事実と意見を区別したうえで、つながりを意識して書かせる。
- ・国語科だけでなく他教科の授業の中で、統計資料等のデータを読み取り、それを根拠として引用しながら制限された字数内で自分の考えを書かせる場面を設定し、取り組む。
- ・接続語を使った短作文を書かせる等して、書く学習の日常化を図る。

☆ 字数や表現様式等の与えられた条件に即して書き換える

＜具体的な指導例＞

- ・自分の考えを書くことに不慣れな児童には、授業の最後に「国語日記」や「学習の記録」として、自分の考えを簡潔に書かせる等の指導を日常的な授業の中で工夫する。
- ・敬語表現を用いて手紙を書く等比較的緩やかな条件における書くことだけでなく、時間内で書き上げる指導や字数や表現様式などのさまざまな条件を設定して、与えられた条件に即して書き換える指導を継続する。

☆ 話の内容をとらえながら適切に聞き取る力を身に付ける

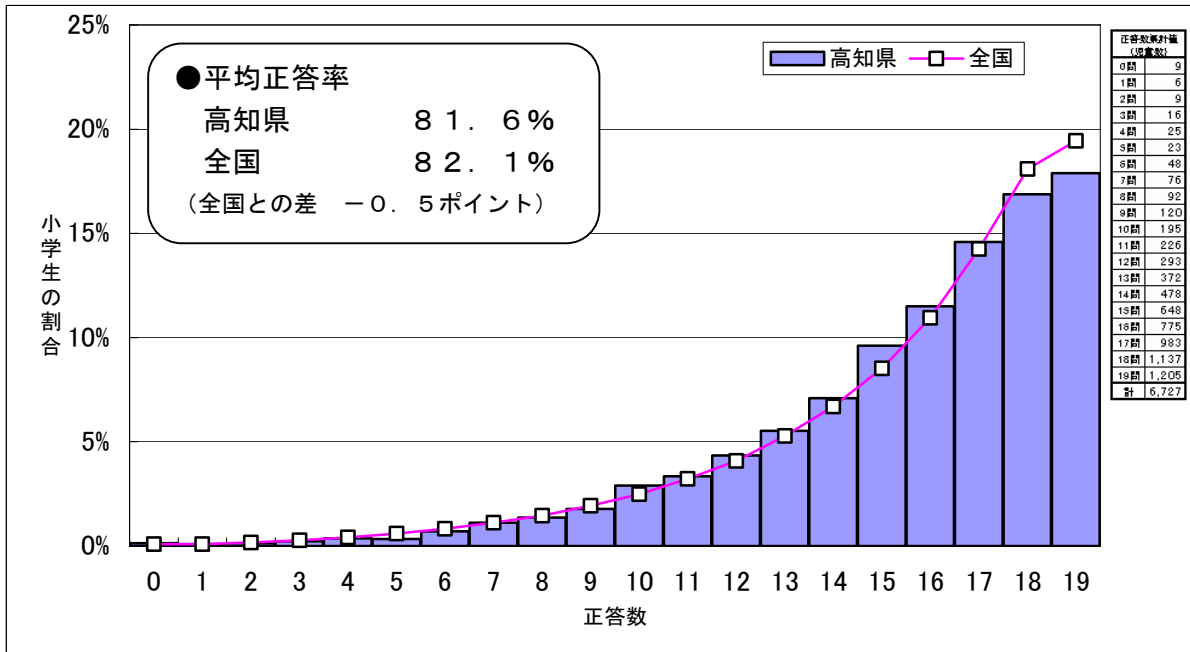
＜具体的な指導例＞

- ・聞き方に関する知識の理解の定着を図るために、目的を明確にして要点を簡潔にとらえ、箇条書きにする等の具体的な聞き取りの場面を設定し、継続して取り組む。
- ・電話等でメモを取る場合には、メモを渡す相手のためにはどのような配慮をすべきか考える機会を設けて、実際にメモを取る等の活動を行う。

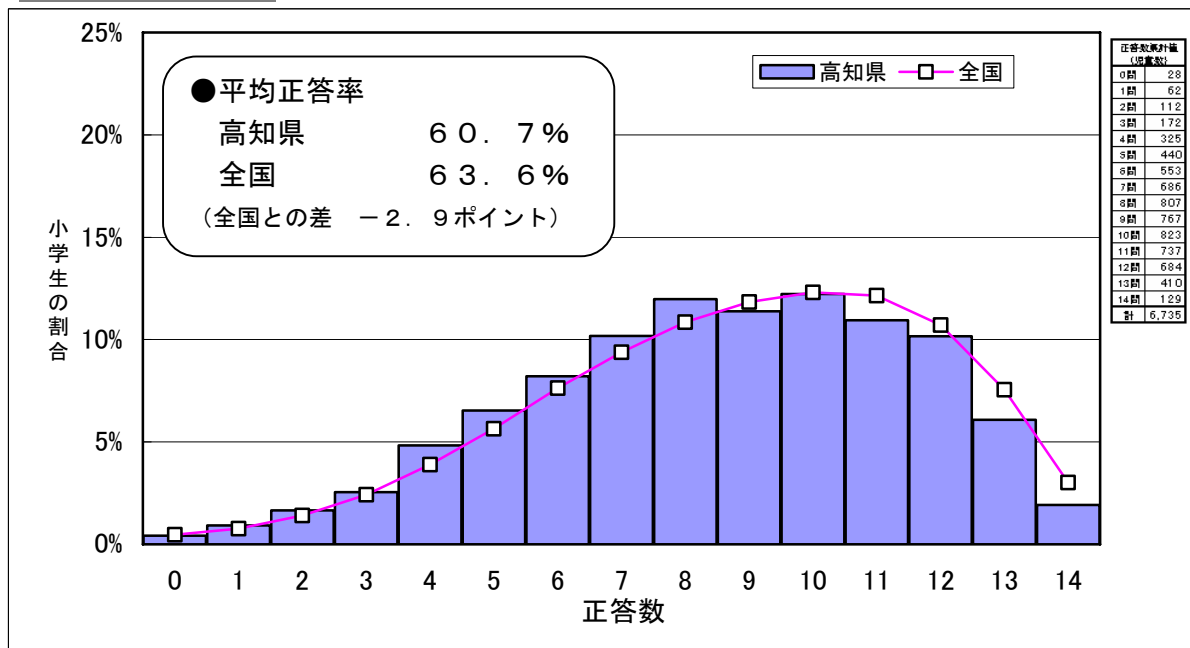
2 小学校算数

- 算数A（知識）について、小学生の平均正答率は、全国の平均正答率と同等である。
- 算数B（活用）について、小学生の平均正答率は、全国の平均正答率と同等である。
- 知識に関する問題については、相当数の小学生が今回出題している学習内容をおおむね理解していると考えられるが、知識・技能を活用する力については全国の状況と同様に課題がある。

算数A（知識）



算数B（活用）



○設問別集計結果 小学校（算数）

■算数A

設問番号	設問の概要	高知県正答率 －全国正答率	平均正答率		無解答率	
			高知県	全国	高知県	全国
1(1)	28+72 を計算する	0.0	98.3	98.3	0.2	0.1
1(2)	27×3.4 を計算する	-0.6	84.9	85.5	0.3	0.5
1(3)	9.3×0.8 を計算する	0.6	85.3	84.7	0.4	0.6
1(4)	12÷0.6 を計算する	1.2	73.9	72.7	0.8	1.2
1(5)	1-5/8 を計算する	0.5	94.3	93.8	0.9	1.2
1(6)	3/7+4/7 を計算する	-0.2	98.2	98.4	0.3	0.4
1(7)	6+0.5×2 を計算する	-1.7	67.2	68.9	0.7	1.1
2	正方形の面積の2/3が塗られている図を選ぶ	-0.3	89.0	89.3	0.2	0.2
3(1)	7/10 を数直線上に表す	0.9	95.9	95.0	0.9	0.9
3(2)	0.5, 7/10, 4/5 のうち最大の数を、数直線上に表す	-6.4	49.2	55.6	2.3	2.4
4	210×0.6 の式で答えが求められる問題を選ぶ	3.6	57.7	54.1	0.6	0.7
5(1)	底辺4cm、高さ6cmの平行四辺形の面積を求める式と答えを書く	1.0	97.0	96.0	0.7	0.9
5(2)	底辺6cm、高さ4cmの三角形の面積を求める式と答えを書く	-0.7	88.7	89.4	0.9	1.3
5(3)	半径10cmの円の面積を求める式と答えを書く	-2.8	70.2	73.0	1.6	2.5
6(1)	2つの角の大きさが75°、35°である三角形の、残りの角の大きさを求める	0.4	84.1	83.7	1.1	1.3
6(2)	方眼紙上で、3点が与えられた平行四辺形の残りの点の位置を選ぶ	-1.1	87.4	88.5	1.0	0.9
7(1)	16cmのひもで縦の長さが3cmの長方形を作ったときの横の長さを求める	-2.0	80.4	82.4	2.2	2.2
7(2)	16cmのひもで長方形を作ったときの縦と横の長さの関係を表した表を完成させる	0.7	76.0	75.3	1.6	1.5
7(3)	16cmのひもで作った長方形の縦の長さが1cmずつ増えるときの横の長さの変化を答える	0.0	75.1	75.1	1.4	1.3

■算数B

設問番号	設問の概要	高知県正答率 －全国正答率	平均正答率		無解答率	
			高知県	全国	高知県	全国
1(1)	長方形のまわりの長さを求める式を選ぶ	0.1	67.3	67.2	0.6	0.5
1(2)	全体の長方形から内部の長方形を除いた残りの部分の面積を求める式を選ぶ	0.1	88.2	88.1	1.3	1.3
1(3)	全体の長方形から内部の長方形を除いた残りの部分の面積が等しいことの理由を説明する	-4.1	63.8	67.9	9.5	8.8
2	25×32を、筆算を用いずに工夫して計算する方法を説明する	-2.8	56.0	58.8	9.7	9.3
3(1)	漁業に携わる人数を表した棒グラフを見て、人数が最も多いグループを選ぶ	-0.7	90.2	90.9	0.8	0.7
3(2)	漁業に携わる人数を表した棒グラフを見て、全体の数がどのように変化してきたかを書く	-3.3	81.9	85.2	3.6	3.3
3(3)	漁業に携わる人数のグループ別の割合を表した帯グラフを見て、正しい記述を選ぶ	-5.5	48.4	53.9	1.4	1.2
4(1)	木曜日と日曜日に安売りをするケーキ屋で指定されたケーキを買うとき、どちらの曜日がいくら安くなるかを求める式と答えを書く	-1.3	27.9	29.2	9.0	8.6
4(2)	5個のケーキを買うとき、与えられた条件から残り2個のケーキの買い方を答える	-1.3	57.8	59.1	9.2	8.4
5(1)	2地点間を往復する際、行きに通った道を通らず、行きと同じ道のりとなる帰りの経路をかく	-1.8	69.4	71.2	7.6	6.1
5(2)	A地点からB地点まで進む2つの経路について、どちらの道のりが長いかを答える	-2.0	77.2	79.2	2.3	1.9
5(3)	長方形の形をした公園と、平行四辺形の形をした公園について、面積が広い方の公園を答え、その理由を説明する	-0.6	17.3	17.9	4.3	3.5
6(1)	式を用いて計算した走り高跳びのめあてと実際の記録を比べ、正しい記述を選ぶ	-3.8	61.1	64.9	10.4	8.2
6(2)	2人の走り高跳びのめあてについて、計算せずに大小を比較できる理由を説明する	-4.3	46.9	51.2	22.7	20.4

は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率

小学校算数

○課題

- 基礎的な知識は概ね身に付いているが、この応用については問題がある。
- 計算の順序のきまりを理解しておらず複雑な計算問題になるとできない。
- 分数を小数に換えたり、分数と小数を比較することができていない。
(授業時間外での練習量に課題がある。)
- 図形の問題に見られるように、多くの情報から必要なものを選ぶことや、筋道を立てて説明する力が身に付いていない。

【学習指導要領の領域別状況】 <◇相当数の児童が理解できている内容 ◆課題がある内容>

数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ◇ (A) 整数、小数、分数の計算は、相当数の児童が理解できている。 ◆ (A) 分数と小数の関係について理解し、数直線上に表すことに課題がある。 ◆ (A) 小数のかけ算に当てはまる文章を選ぶことに課題がある。 ◆ (B) 計算の工夫を理解し、その計算方法を説明することに課題がある。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> ◇ (A) 基本的な図形の面積を求める公式を理解し、面積を求めることは、相当数の児童が理解できている。 ◇ (B) L字型の図形の面積の求め方を表す式をよみとることは、相当数の児童が理解できている。 ◆ (B) 地図から複数の図形を見だし、必要な情報を取り出して面積を比較し、説明することに課題がある。
図形	<ul style="list-style-type: none"> ◇ (A) 三角形の内角の和が180°であることを利用して、角の大きさを求めることは、相当数の児童が理解できている。 ◇ (A) 平行四辺形の定義や性質を理解し、作図することは、相当数の児童が理解できている。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> ◇ (B) 棒グラフから人数の大小や変化の様子をよみとることは、相当数の児童が理解できている。 ◆ (A) 計算の順序についての決まりを理解して計算することに課題がある。 ◆ (B) 帯グラフから割合の変化の様子をよみとることに課題がある。 ◆ (B) 必要な情報をもとに、百分率を用いて問題を解決することに課題がある。 ◆ (B) 式の形に着目して計算結果の大小を判断し、根拠を明確にして説明することに課題がある。

【正答率が高い問題】

A 1 (1) $28+72$ の計算をする	[98.3%]
A 1 (6) $3/7+4/7$ の計算をする	[98.2%]
A 5 (1) 平行四辺形の面積を求める	[97.0%]
A 3 (1) $7/10$ を数直線上に表す	[95.9%]
A 1 (5) $1-5/8$ の計算をする	[94.3%]

【正答率が低い問題】

B 5 (3) 面積の広い方の公園を答え、その理由を説明する	[17.3%]
B 4 (1) どちらの曜日がいくら安くなるかを求める式と答えを書く	[27.9%]
B 6 (2) 計算せずに大小を比較できる理由を説明する	[46.9%]
B 3 (3) グループ別の割合を表した帯グラフを見て、正しい記述を選ぶ	[48.4%]
A 3 (2) 0.5 、 $7/10$ 、 $4/5$ のうち最大の数を、数直線上に表す	[49.2%]

○指導改善の方向性

☆ 授業の中で、答えを導き出すまでの考え方やその根拠を文字や図表、数式を使って説明させる

<具体的な指導例>

- ・文章題では、問題を読んで分かっていることや問われていることを整理し、その状況を絵や図で表してイメージさせることが問題解決への糸口になる。低学年から継続して数量の関係を絵や図表等に表す経験を重ねる。
- ・授業の最後に振り返る活動を取り入れ、学んだことや発見したことを、算数日記等に自分の言葉で書き、学習内容の定着につなげる。

☆ 算数と実生活とのつながりを意識した学習を行い、その関係を理解させる

<具体的な指導例>

- ・身の回りの事象の中にある関係を探り、規則性を見いだすことや一般化する指導を多く取り入れ、知識・技能を活用する場面を設定する。
- ・日常生活の場面を課題に取り入れたり、身の回りから算数にかかわる事柄を見つける活動や算数で学習したことを生活の中で活用させる。
- ・学校の運動場の縦と横の長さを測り、およその面積を求める活動等、ダイナミックな活動を通して算数の有用性を体感させる。
- ・理科や社会科でのグラフの読み取り等、算数での学習内容が他教科と関連していることを実感させる。

☆ 児童自らが考え、新たな発見のある授業の工夫を行う

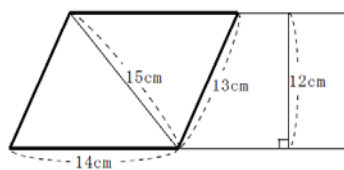
<具体的な指導例>

- ・基礎基本を繰り返して学習し、併せて応用力を身に付けるような学習を行う。
- ・授業では、具体物を用いて実際に物を作ったり、確かめたりする活動を通して、児童の自力解決を図る時間を設け、互いに自らの考えを説明し、学び合う等、多様な見方・考え方を引き出す場面を設定して、問題解決の学習を行う。
- ・友だちの考えのよさに気づき、児童が互いに評価し合い、「自分の考えが友だちに認められた」経験を重ねることで、自己肯定感を高め、算数への学習意欲の向上につなげる。

☆ 基礎的な学習内容を活用できる応用問題を取り入れる

<具体的な指導例>

(平行四辺形の面積を求める課題の例)

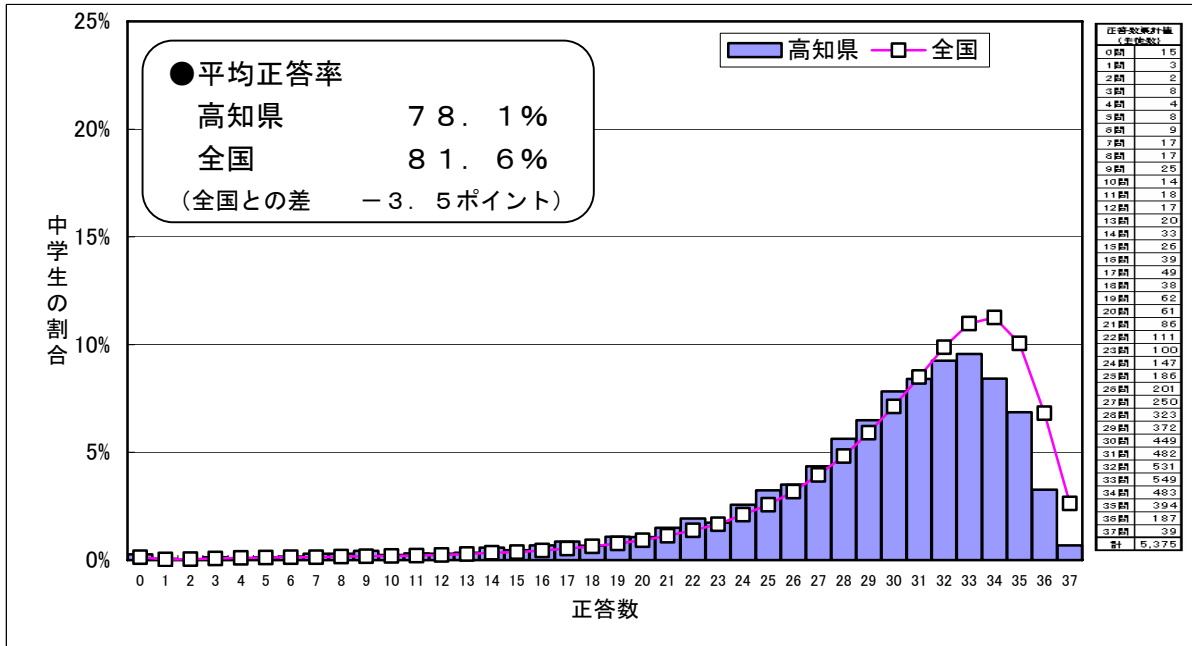


- ・授業で用いられる問題には、解決に必要な情報のみが与えられていて、それ以外の情報は含まれていないことが多い。左の図のように、必要でない情報を含む課題を提示することは少ない。底辺と高さの理解を確実にするためにも、問題の解決のために必要な情報を児童自らが的確に選択し、活用できるように指導の工夫を行う。

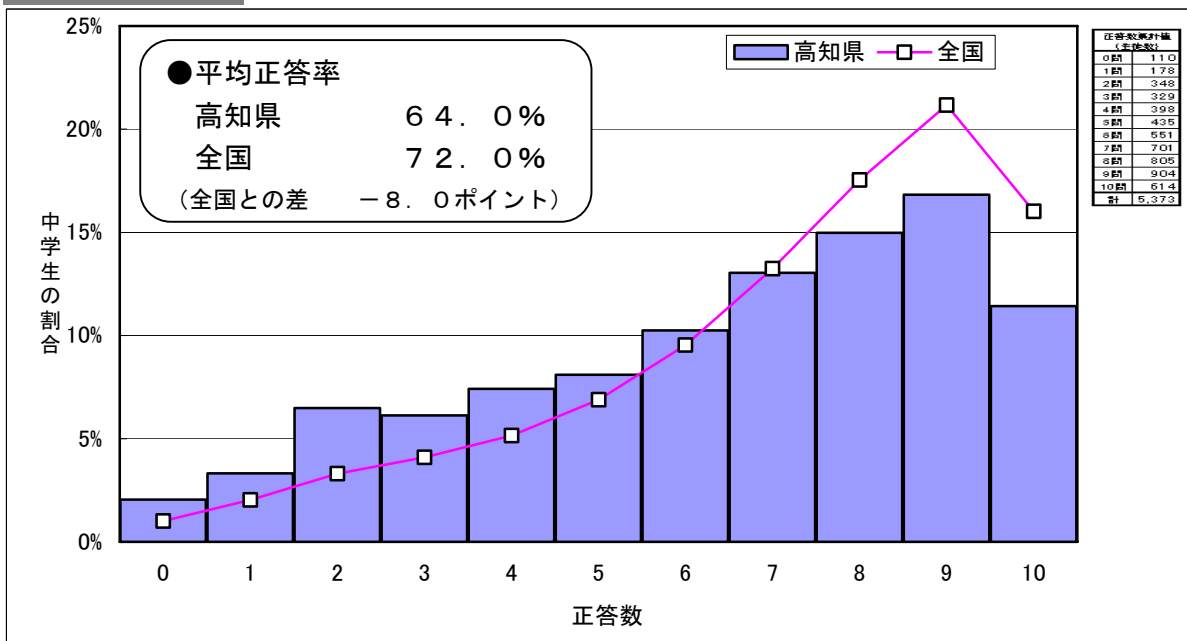
3 中学校国語

- 国語A（知識）について、生徒の平均正答率は、全国の平均正答率と同等である。
- 国語B（活用）について、生徒の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っている。
- 知識に関する問題については、相当数の生徒が今回出題している学習内容をおおむね理解していると考えられるが、知識・技能を活用する力については全国の状況と比べて課題が大きい。

国語A（知識）



国語B（活用）



○設問別集計結果 中学校（国語）

■国語A

設問番号	設問の概要	高知県正答率 －全国正答率	平均正答率		無解答率	
			高知県	全国	高知県	全国
1一	「満天の星」を聞き手に分かりやすい表現に直す	-0.5	86.1	86.6	5.4	4.6
1二	スピーチの内容にふさわしい題名をつける	-3.6	84.1	87.7	0.4	0.3
2一	手紙の結語「敬具」に対応する頭語を選択する	-3.9	81.5	85.4	0.4	0.3
2二	手紙の主文の書き出しの語を選択する	-6.7	73.9	80.6	0.3	0.2
2三	手紙の後付けの適切な書き方を選択する	-5.8	49.2	55.0	0.5	0.4
3一	小説の中の表現についての適切な説明を選択する	-3.1	66.9	70.0	0.4	0.3
3二	小説に描かれた場面と表現についての適切な説明を選択する	-5.5	66.1	71.6	0.6	0.4
4一	詩(歌詞)のリズムについての適切な説明を選択する	-4.2	71.5	75.7	0.8	0.6
4二①	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(かをる)	-1.0	90.8	91.8	3.5	2.8
4二②	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(ふるふ)	1.2	77.6	76.4	5.2	4.2
4三	歴史的仮名遣いで書かれた表現を読み取り、様子についての適切な説明を選択する	-1.6	89.0	90.6	0.7	0.5
5一1	電話の内容をメモする(行事の内容)	-2.4	93.0	95.4	3.0	1.5
5一2	電話の内容をメモする(場所)	-1.4	96.6	98.0	2.6	1.3
5一3	電話の内容をメモする(連絡先)	-5.1	85.3	90.4	2.7	1.4
5二	電話の相手の話に不足している情報について質問する	-4.2	85.9	90.1	8.2	5.3
6一	インタビューの目的にあった質問内容を考え、質問しなくてもよいものを選択する	-2.8	89.3	92.1	0.5	0.5
6二	インタビューの一部を読み、改善点として適切なものを選択する	-0.1	80.4	80.5	0.6	0.6
7一	グラフから読み取れる内容について提示された文章に合うように書く	-6.9	65.5	72.4	17.7	10.0
8一1	漢字を書く(会社のリエキを上げる)	-1.4	66.8	68.2	14.9	12.8
8一2	漢字を書く(おもしろみがハンゲンした)	-8.4	57.9	66.3	19.0	15.0
8一3	漢字を書く(友達に本をカス)	-1.3	56.8	58.1	9.7	7.3
8二1	漢字を読む(道路を拡張する)	-0.4	82.6	83.0	5.8	4.9
8二2	漢字を読む(草木が繁茂している)	-20.6	9.7	30.3	38.5	28.3
8二3	漢字を読む(入会を勧める)	-7.2	59.0	66.2	4.4	3.7
8三ア	適切な同訓異字を選択する(税金を納める)	-2.6	84.9	87.5	0.7	0.6
8三イ	適切な慣用語を選択する(努力が水の泡となってしまった)	-0.8	96.9	97.7	0.6	0.6
8三ウ	適切な四字熟語を選択する(単刀直入にものを言う)	-1.1	88.3	89.4	0.9	0.9
8三エ	適切な語句を選択する(「絶対安静にしなさい。」)	-1.3	94.8	96.1	0.7	0.6
8三オ	適切な語句を選択する(放送は、B劇場から中継した)	-1.0	85.8	86.8	0.8	0.8
8三カ	適切な語句を選択する(のどのかわきをいやした)	-1.7	89.9	91.6	1.1	0.9
8四	行書で書かれた漢字を楷書で書いたときの総画数を選択する	-0.9	77.4	78.3	0.7	0.7
8五	文字を読みやすくするための改善点を選択する	-4.8	78.7	83.5	0.9	1.0
8六	「枕草子」の冒頭を書く	-10.4	77.6	88.0	10.7	5.7
8七ア	文を推敲する(主語・述語の対応)	-4.1	87.6	91.7	7.2	4.3
8七イ	文を推敲する(副詞の呼応)	-5.5	82.6	88.1	7.6	4.8
8八ア	適切な敬語を選択する(尊敬語)	-0.9	92.9	93.8	1.1	1.0
8八イ	適切な敬語を選択する(謙讓語)	-3.7	85.7	89.4	1.2	1.0

■国語B

設問番号	設問の概要	高知県正答率 －全国正答率	平均正答率		無解答率	
			高知県	全国	高知県	全国
1一	話題を具体化するために資料を用いる箇所を選択する	-5.3	76.3	81.3	0.6	0.4
1二	ロボットを開発した人の考えに合う内容を表から選択する	-4.6	87.9	92.5	0.7	0.4
1三	ロボットと共存する未来社会について想像し、自分の考えを書く	-8.6	67.3	75.9	17.2	9.6
2一	「蜘蛛の糸」を読み、その内容や表現についての適切な説明を選択する	-3.4	77.9	81.3	0.9	0.6
2二アイ	「蜘蛛の糸」の一部分を朗読する場合の適切な工夫を選択する	-7.1	61.4	68.5	0.9	0.6
2三	「三」の場面の有無に関して、自分の考えを80字以上120字以内で書く	-11.1	63.7	74.8	17.3	10.1
3一	広告カードについての会話文とカードの内容から、書いた人を特定する	-8.4	64.7	73.1	1.1	0.8
3二(1)	中学生が作成した広告カードに共通して書かれている情報を二つ書く	-9.3	63.9	73.2	12.4	6.8
3二(2)	中学生が作成した広告カードと、店員が作成した広告カードを比較し、違いを説明する	-10.2	43.7	53.9	17.1	10
3三	中学生の広告カードと、店員が作成した広告カードを比較し、違いを説明する	-6.0	36.6	42.6	20.3	12.4

は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率

は、全国正答率より10ポイントをこえて低い正答率

中学校国語

○課題

- 文章の構造を捉えることや段落と段落の関係などを考えながら読む方法や力が身に付いていない。特に、文章の中の各段落の役割や文と文との接続関係を見極めて読む方法や力が身に付いていない。
- 根拠を明らかにして自分の考えを書いたり、論理の展開を工夫して書いたりすることができていない。
- 文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりすることができていない。

【学習指導要領の領域別状況】 <◇相当数の生徒が理解できている内容 ◆課題がある内容>

話すこと・聞くこと	◇ (A) 聞き手を意識して使用する語句を工夫することや不足している情報を適切な表現で話し手に確かめることは、相当数の生徒ができています。 ◆ (A) 電話の内容を聞き取り、伝言を依頼されたときに伝える必要のある内容を簡潔にまとめることに課題がある。
書くこと	◆ (A) 手紙の後付けの書き方についての理解に課題がある。 ◆ (A B) グラフから必要な情報を読み取って記述すること、文学作品の内容や構成について自分の考えを書くことに課題がある。 ◆ (B) 資料から得た情報を整理して、伝えたい事柄や自分の考えを明確にして書くことに課題がある。
読むこと	◇ (A) 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことはできている。 ◆ (A) 代表的な古典に親しませることに課題がある。 ◆ (A) 比喻等の表現技法に注意して、内容をとらえることに課題がある。 ◇ (B) 文章全体の内容や表現の特徴についておおまかに読み取ることはできている。 ◆ (B) 様々な種類の文章から必要な情報を読み取ることに課題がある。 ◆ (B) 文章の展開や心情の変化に着目して、工夫しながら朗読することに課題がある。
言語事項	◇ (A) 語句の意味を理解して文脈の中で正しく使うこと、生活の場面で敬語を適切に使うことはできている。 ◆ (A) 文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりすることに課題がある。

【正答率が高い問題】

A 8 三イ 慣用句の選択 (水の泡)	[96.9%]
A 5 一 2 電話の内容のメモ (場所)	[96.6%]
A 8 三エ 語句の選択 (安静)	[94.8%]
A 5 一 1 電話の内容のメモ (行事の内容)	[93.0%]
A 8 八ア 敬語の選択 (尊敬語)	[92.9%]

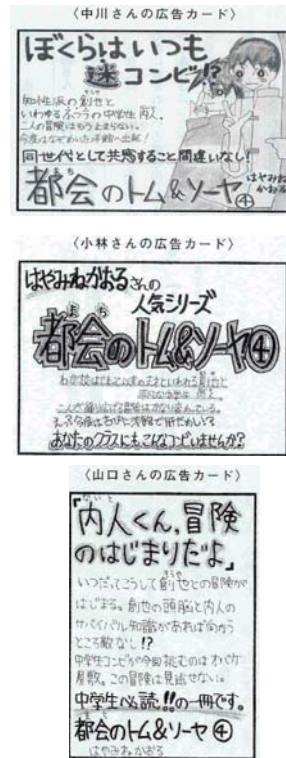
【正答率が低い問題】

A 8 二 2 漢字の読み (はんも)	[9.7%]
B 3 三 広告カードを比較し違いを説明する	[36.6%]
B 3 二 広告カードを比較し共通している情報を二つ書く	[43.7%]
A 2 三 手紙の後付けの書き方を選択	[49.2%]
A 8 一 3 漢字の書き (貸す)	[56.8%]

○指導改善の方向性

☆ 様々な文章の内容・情報を的確に読み取る ＜具体的な指導例＞

- ・漫然とただ文章を読ませる授業ではなく、何のために読むのか、読んでどうするのかという目的意識をもたせる。
- ・授業の最初には、一時間でどんなことを学ぶのか目標を示し、学習意欲を喚起する。また、文書の構造を捉えながら、接続語や文末表現、文章の形態の特徴に着目して読み、何が、どんなふうにかかれてあるのか等内容理解を深めさせる。
- ・同じジャンルのテキストだけではなく、非連続型テキスト（データを視覚的に表現した図・グラフ、表・マトリクス、技術的な説明等の図、地図等を指す。）を含めた様々な資料を授業の中で取り入れる。
- ・読書指導において、同じ作者の作品を比較しながら読む、読んだ本に対して書評を書く等意図的・計画的な指導を継続する。
- ・図書館や情報機器を効果的に利用する仕方の指導を位置付ける。



3 書店へ職業体験に行った三人の中学生（中川さん・小林さん・山口さん）は、店長さんに本の広告カードの作成を頼まりました。次は、三人の作った広告カードと、三人が店長さんへ交えて話している様子「A」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

二 三人の作った広告カードには、「本の題名（書名）」のように共通して書かれている情報がいくつかあります。「本の題名（書名）」以外に共通して書かれている情報を二つ書きなさい。

国語B 3

☆ 文章の中から読み取ったことを書き換えたり、自分の考えを書きまとめたりする ＜具体的な指導例＞

- ・事実と意見を区別して書く、本文を引用する、結論を先に書き理由を端的に箇条書きにまとめる等、客観的に述べる方法等も併せて指導する。
- ・学校案内のパンフレットや友達に推薦したい本の紹介カードを書く等、複数の資料を比較して、共通点や相違点を整理する場を設定する。
- ・根拠を示して説得力をもたせ、筋道を立てて書く指導を継続する。

☆ 文章を読み取るために必要な使用頻度の低い漢字も使用できるようにする ＜具体的な指導例＞

- ・中学校修了までに第2学年までに学習した常用漢字を確実に読めるように指導する。
- ・何よりも、漢字を読んだり書いたりする機会を多くして習熟を図ったり、国語辞典や漢字辞典を積極的に利活用させたりする。
- ・漢字の習得ができないのは、語彙量が少ないからであり、そのためにも語彙量を増やす。（読書活動、新聞の活用等）

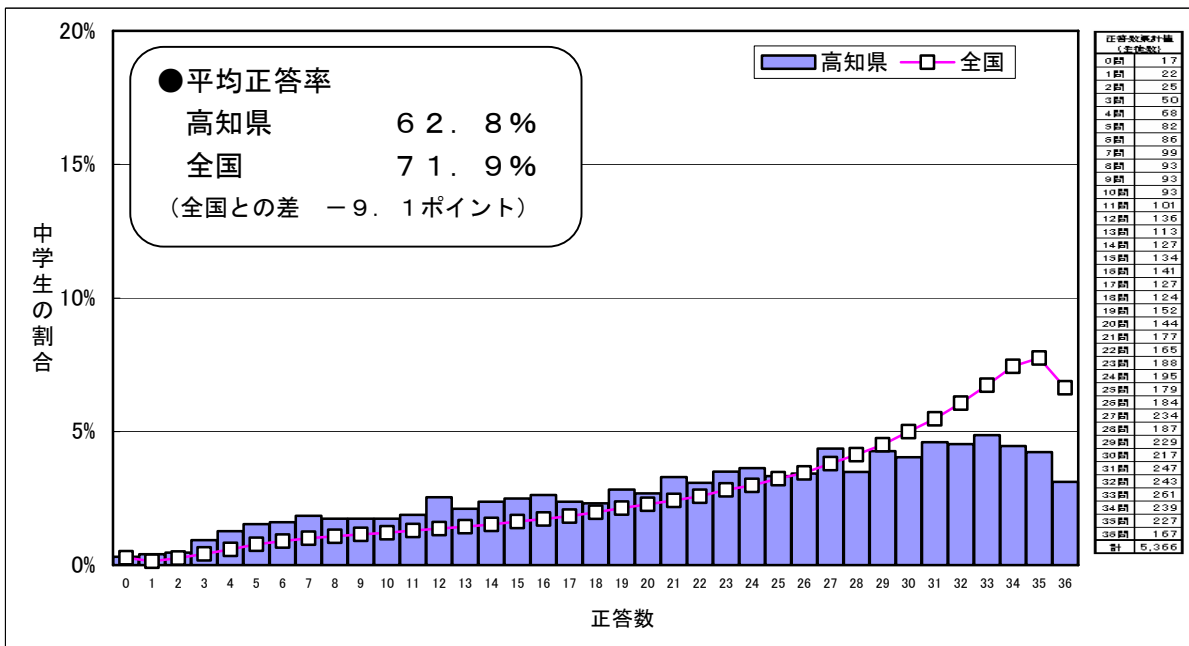
☆ 家庭学習の充実を図る ＜具体的な指導例＞

- ・家庭学習における自主学習では、何をするのかを明示（例：○ページの○段落を要約するなど）したり、進展状況を確認したりするなど生徒の学習意欲につなげる。
- ・その日に学習した内容を盛り込んだり、翌日の学習が充実するための学習内容等を用いたりして、家庭学習の質・量の向上を図る。
- ・社会生活を営む一員として、基礎的・基本的な学習内容を確実に定着させ、実生活で適切に言葉を使うことができるように家庭との連携を図る。

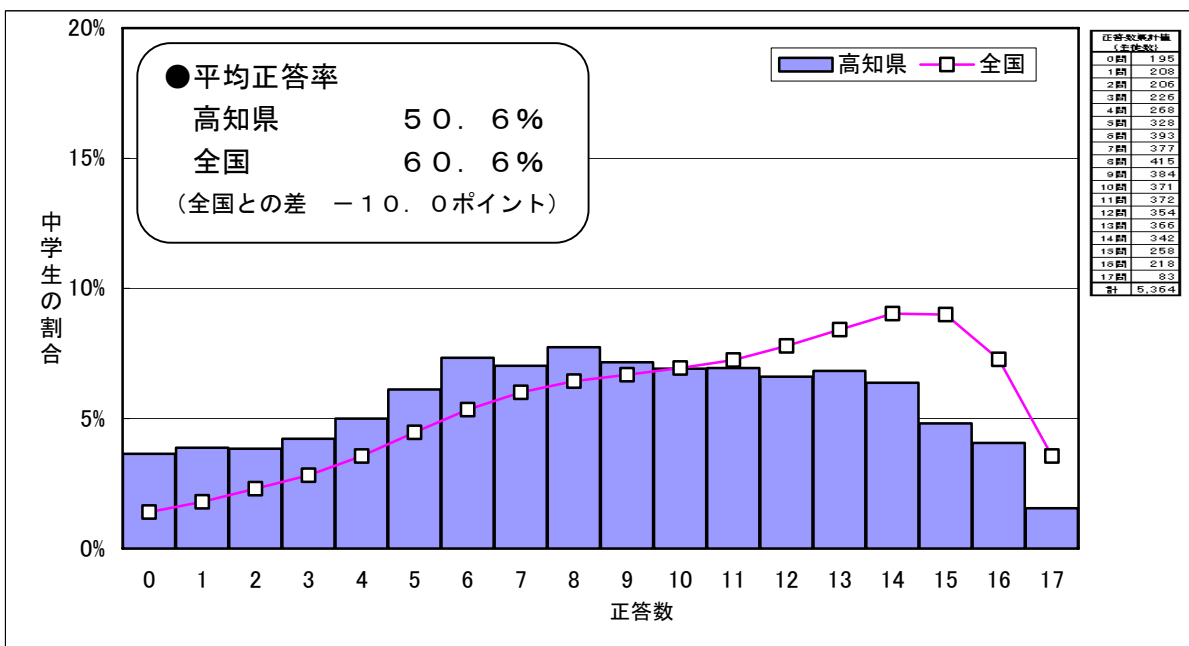
4 中学校数学

- 数学A（知識）について、生徒の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っている。
- 数学B（活用）について、生徒の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく下回っている。
- 知識に関する問題と活用に関する問題の正答率はともに全国を下回っており、基礎的・基本的な知識や技能の習得と知識や技能を活用する力の育成については、ともに課題が大きい。

数学A（知識）



数学B（活用）



○設問別集計結果 中学校（数学）

■数学A

設問番号	設問の概要	高知県正答率 -全国正答率	平均正答率		無解答率	
			高知県	全国	高知県	全国
1(1)	2/3÷5/7 を計算する	-9.7	72.8	82.5	13.3	7.0
1(2)	1/3, 0, -2, 4, -1/2の中から、最小の数を選ぶ	-5.3	79.9	85.2	0.5	0.3
1(3)	2×(-3) ² を計算する	-6.7	81.6	88.3	3.3	1.5
1(4)	8-5×(-6) を計算する	-10.3	66.8	77.1	4.5	1.9
2(1)	(2x+7y)-2(x-3y) を計算する	-12.1	60.8	72.9	8.2	3.8
2(2)	a=5, b=-4のときの式 3a+5b の値を求める	-10.4	72.7	83.1	14.5	7.3
2(3)	縦a, 横b の長方形において、2(a+b)が表す量を選ぶ	-10.4	52.2	62.6	1.2	0.7
2(4)	2x+3y=9 を y について解く	-14.9	41.0	55.9	24.1	12.9
3(1)	一次方程式を解くとき、移項の意味を選ぶ	-8.4	52.4	60.8	2.6	1.4
3(2)	4(x+5)=80 を解く	-9.3	73.6	82.9	13.2	7.1
3(3)	数量の関係を連立二元一次方程式で表す	-16.1	54.3	70.4	24.1	12.3
3(4)	連立方程式 5x+7y=3, 2x+3y=1 を解く	-10.7	61.2	71.9	17.8	9.8
4(1)	線対称な図形の対称軸を選ぶ	-6.7	76.6	83.3	1.8	0.9
4(2)	角の二等分線の作図の手順を選ぶ	-8.8	76.9	85.7	1.5	0.8
5(1)①	直方体において、与えられた面に垂直な辺を書く	-6.7	59.2	65.9	7.9	4.0
5(1)②	直方体において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く	-10.6	59.5	70.1	8.4	4.6
5(2)	長方形を1回転させてできる立体を選ぶ	-5.7	81.0	86.7	1.3	0.7
5(3)	円錐の展開図を選ぶ	-6.4	81.7	88.1	1.1	0.6
5(4)	円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ	-9.9	26.6	36.5	1.5	0.8
6(1)	平行線の同位角の大きさが等しいことを利用して、角の大きさを求める	-3.7	87.6	91.3	5.3	2.5
6(2)	円周角から中心角を求める	-4.7	80.7	85.4	9.3	6.3
6(3)	平行四辺形になるための条件を表した記号をもとに、正しく述べられた文を選ぶ	-8.2	58.2	66.4	1.6	0.9
7	証明の意義や必要性について、正しいものを選ぶ	-5.4	67.5	72.9	2.4	1.2
8	証明で用いられた三角形の合同条件を選ぶ	-10.4	62.8	73.2	1.8	1.0
9(1)	比例の意味を表した記述を選ぶ	-9.2	74.0	83.2	2.3	1.2
9(2)	比例のグラフから式を求める	-15.5	51.4	66.9	17.8	9.9
10(1)	反比例の表を完成する	-10.4	35.8	46.2	9.2	4.9
10(2)	反比例のグラフを選ぶ	-11.6	56.3	67.9	2.2	1.3
11(1)	一次関数を表した事象を選ぶ	-12.1	51.7	63.8	3.1	1.8
11(2)	一次関数のグラフを選ぶ	-13.3	46.4	59.7	2.9	1.7
12(1)	一次関数のグラフ（時間と道のりの関係を表したグラフ）から速さを求める	-9.0	65.9	74.9	14.5	9.6
12(2)	一次関数のグラフ（時間と道のりの関係を表したグラフ）から速さを求める	-9.7	51.3	61.0	17.3	11.9
13	連立方程式の解をグラフ上の点から選ぶ	-10.2	58.3	68.5	3.0	2.1
14(1)	確率を表した事象を選ぶ	-5.1	44.1	49.2	2.2	1.6
14(2)	総当たり戦の試合数を求める	-2.7	64.9	67.6	12.8	7.8
15	平均の意味を表した記述を選ぶ	-6.1	75.8	81.9	2.5	1.8

■数学B

設問番号	設問の概要	高知県正答率 -全国正答率	平均正答率		無解答率	
			高知県	全国	高知県	全国
1(1)	レストランのセットメニューで、条件を満たすメニューの選び方が何通りあるかを求める	-12.5	55.6	68.1	4.5	1.8
1(2)	レストランのセットメニューで、条件を満たすメニューを選択する	-5.7	39.1	44.8	1.2	0.5
1(3)	レストランのセットメニューの代金から、条件に合う注文をした人がいたかどうかを答え、その理由を説明する	-9.6	43.3	52.9	3.7	2.5
2(1)	連続する3つの自然数の和の性質について、式からよみとることを選ぶ	-5.2	49.6	54.8	2.9	1.6
2(2)	連続する5つの自然数の和が5の倍数になることを説明する	-14.4	26.5	40.9	43.8	29.2
3(1)	サッカー大会の総当たり戦での順位の決め方から、指定されたチームの点数を計算する	-7.5	79.0	86.5	6.6	2.8
3(2)	チームの順位の決め方をもとに、1位のチームを選ぶ	-5.6	86.5	92.1	2.0	0.9
3(3)式	条件に合った計算式を新たにつくる	-13.0	36.8	49.8	47.6	35.0
3(3)理由	新たにつくった計算式が、条件に合うことを説明する	-13.3	29.4	42.7	53.3	40.1
4(1)	線分の垂直二等分線の証明で、誤りを指摘する	-13.5	44.9	58.4	34.8	23.3
4(2)	証明の中の誤りを正しく書き直す	-11.3	36.6	47.9	28.4	17.4
5(1)	水を熱したときの時間と温度（水温）のグラフから、10分後の水温を求める	-5.6	87.4	93.0	8.8	4.5
5(2)	時間と水温の関係が一次関数であることが分かるグラフの特徴を説明する	-10.3	20.8	31.1	44.9	29.5
5(3)	水温が80℃になる時間を求める方法を説明する	-13.6	25.1	38.7	54.8	38.6
6(1)	家から公園を通り図書館まで往復したときの時間と距離の関係を表したグラフの線分を表す事象を答える	-7.1	81.3	88.4	14.3	8.2
6(2)	グラフをもとに、図書館にいた時間を答える	-8.5	66.8	75.3	10.5	6.0
6(3)	家から公園までの速さと、公園から図書館までの速さのどちらが速かったかを選び、その理由を説明する	-9.6	51.6	61.2	4.7	3.6

 は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率
 は、全国正答率より10ポイントをこえて低い正答率

中学校数学

○課題

- 中1の初期段階で学習する基本的な問題が解けておらず、基礎学力が身に付いていない生徒が多い。特に、正負の数や文字を含む計算式等、中学3年間の基本の基本となる問題が理解できていない。

(例1: $8-5 \times (-6)$ 例2: $2x+3y=9$ を y について解く)

〔 中学初期の段階での家庭学習や補習のあり方に課題があり、その結果として、中学校3年間の学力の定着全般に影響がある。 〕

- 文章問題を読み取ることや、内容や考え方を生かして解決を図ることができていない。
- 記述式で説明する問題では無解答が多い。

【学習指導要領の領域別状況】 <◇相当数の生徒が理解できている内容 ◆課題がある内容>

数と式	<ul style="list-style-type: none"> ◆ (A) 物事を発展的に考えることに課題がある。 ◆ (A) 問題解決の構想を立て、結果を振り返り立式することに課題がある。 ◆ (A) 与えられた文字式の意味を具体的な事象の中でよみとることに課題がある。 ◆ (B) 関係を表す式を、等式の性質を用いて目的に合うように変形することに課題がある。 ◆ (B) 具体的な事象の中の数量関係をとらえ、連立二元一次方程式であらわすことに課題がある。
図形	<ul style="list-style-type: none"> ◇ (A) 平行線の性質は、相当数の生徒が理解できている。 ◆ (A) 円錐の体積と底面が合同で高さが等しい円柱の体積との関係を理解することに課題がある。 ◆ (A) 記号を用いて表された「平行四辺形になるための条件」を正しく理解することに課題がある。 ◆ (B) 証明を振り返り、評価、改善することに課題がある。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> ◆ (A) 反比例の関係を表す表から変化の対応の特徴をとらえることに課題がある。 ◆ (A) 確率の意味を理解することに課題がある。 ◆ (B) 情報を分類整理し適切に選択し、判断することに課題がある。 ◆ (B) グラフ上の点の並び方を理想化、単純化してとらえることに課題がある。 ◆ (B) 問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

【正答率が高い問題】

A 6 (1) 角の性質の理解	[87.6%]
B 5 (1) 水温をグラフからよむ	[87.4%]
B 3 (2) 1位のチームを指摘する	[86.5%]
A 5 (3) 円錐の展開図を選ぶ	[81.7%]
A 1 (3) 四則の計算をする	[81.6%]

【正答率が低い問題】

B 5 (2) 一次関数の特徴を説明する	[20.8%]
B 5 (3) グラフを延ばさずに求める方法を説明する	[25.1%]
B 2 (2) 連続する5つの数の和を説明する	[26.5%]
A 5 (4) 円柱と円錐の体積の関係を表す図を選ぶ	[26.6%]
B 3 (3) 新たにつくった計算式が、条件に合うことを <理由> 説明する	[29.4%]

○指導改善の方向性

☆ ごく基本的な計算問題すら解けていない状況がある。基本的な問題の反復等の繰り返し学習を行い、家庭学習の課題を与える

<具体的な指導例>

- ・小学校の学習内容を含めた基本的な問題を授業の中で行い、基礎・基本の定着を行う。(分数や小数の計算問題と四則の入り交じった計算など)
- ・生徒の主体的な学びにつなげるために、生徒の実態にあった発問や教材を工夫する。
- ・自分の考えをノートにまとめ、意見交換を行う等の場面を設定する。
- ・「授業で何を学習するのか」を明示し、授業後の「振り返り(まとめ)」や学力チェックテスト等により、学力の定着を確実にする。
- ・学習の定着の実態を把握し、補習を確実に行う。
- ・小単元毎に確認テストを行い、生徒が「解けた」「分かった」という事実を積み重ね、学んだことを確実に積み上げていく。
- ・基礎基本を繰り返して学習し、併せて応用力を身に付けるような学習を行う。
- ・家庭学習の定着を図るために、家庭学習の課題を与えると同時に、家庭学習を生かす授業を行う。
- ・生徒一人ひとりの学力を確認する教材として、「算数・数学学習シート(小中学校課が平成18年4月にCD-ROMで各校に配布)」等を活用し、家庭学習の質・量の向上を図る。

<正答率が低かった計算問題>

○ $\frac{2}{3} \div \frac{5}{7}$
(正答率 72.8%)

○ $8 - 5 \times (-6)$
(正答率 66.8%)

○ $4(x + 5) = 80$
(正答率 73.6%)

☆ 読解力や表現力の育成と関連させながら指導する

<具体的な指導例>

- ・自分の考えやその根拠を、言葉や数、式、図表、グラフ等を用いて明らかにすることができるように、日頃から、発表の仕方を工夫する等、読解力や表現力の育成と関連させながら指導する。
- ・問題文をノートに書かせ、文章問題に対する抵抗をなくす。

☆ 数学と実生活とのつながりを意識した学習を行い、その関係を理解させる

<具体的な指導例>

- ・身の回りの事象の中にある関係を探り、規則性を見いだすことや、一般化する指導を多く取り入れ、知識・技能を活用する場面を設定する。
- ・生徒の思考力を育てるために、生徒が考えを深める時間を十分にとる。
- ・身の回りにおける規則性のある事柄について、その関係を数学的に表すことで、実測ができない数量を予測することも可能になり、数学を学ぶことの意義や有用性を実感することにつなげる。

<問題B-5>

理科の実験で、水を熱したときの水温を調べる実験をしました。

.....

(3)水温が80℃になる時間は何分後かを求めるには、浩志さんの考えた方法のほかに、どのような方法が考えられますか。